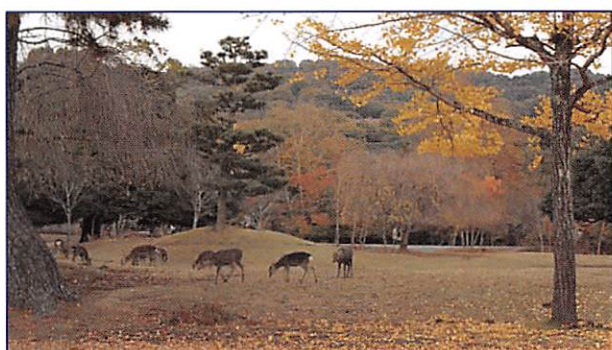


奈良市観光振興プロジェクト

「奈良の観光を考える」報告書

— 宿泊客増加に向けて —



2014年1月

奈良県立大学・奈良信用金庫

ごあいさつ

平成23年10月に奈良信用金庫と本学は、地域振興に関する連携協定を締結しました。同年12月に「第1回なら観光シンポジウム」を実施後、連携活動を継続し、平成25年11月には「第5回なら観光シンポジウム」を実施するに至りました。この間、シンポジウムにはたくさんの方々をご参加くださいました。また、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。

当初より、奈良市の観光振興について調査・分析するだけでなく、何か具体的で実効性のある提案を行うことを目標にしていたので、平成24年9月に奈良信用金庫、信金中央金庫、奈良市、奈良市観光協会、奈良県立大学を構成メンバーとして「奈良市観光振興プロジェクト」を立ち上げました。その活動の第一的な成果として、「歴史リゾート」をコンセプトにした奈良市の宿泊観光プログラムの提案を取りまとめ、「第5回なら観光シンポジウム」において発表いたしました。奈良県立大学の学生のみなさんにもプロジェクトに積極的に参加していただきました。奈良信用金庫、信金中央金庫、奈良市、奈良市観光協会の方々、その他関係者の皆様の多大なるご協力・ご支援を得て、この度、報告書として取りまとめることができました。今後も奈良市の観光振興のために連携活動を継続していきたいと考えています。成果としての熟度は十分とは言えませんが、この報告書が奈良市の観光振興を検討する際の一助となれば幸いです。

結びに本プロジェクトが提言している内容が順次実施され、奈良市の観光事業が元気を取り戻すこと、そして地域の活性化が促進されることを祈念します。

奈良県立大学

学長 伊藤忠通

ごあいさつ

皆様には平素より当金庫に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

奈良県は、古からある歴史的な町並みの中に世界遺産を多く有し、世界に通じるブランド力を持っております。しかしながら、余りある歴史資源を保有しながらも、時代の流れによる観光スタイルの変化や情報発信不足により観光産業が低迷している事実は否めません。今後、奈良県では少子高齢化による人口の減少が想定され、地域の将来を展望した場合、奈良の産業の中心である『観光分野等において奈良ブランドをいかに育成するか』ということは、非常に大きなテーマであり重要な課題となっております。その課題に取り組むべく、当金庫は地域産業の活性化を目的として2011年10月に奈良県立大学と連携協定を締結し、奈良市の観光をテーマにした「なら観光シンポジウム」を開催、25年11月には第5回「なら観光シンポジウム」を実施するまでに至りました。また、2012年9月には具体的でかつ実効性のあるプロジェクトを目指し、奈良市観光振興プロジェクトを立ち上げ、各種の調査・アンケートを実施し活動を進めてまいりました。プロジェクトの成果としては未だ十分とは言えませんが、シンポジウムでのワーキングチームの発表を受けて各方面の方々から反響をいただいております。活動の広がりには大きな期待と重責を感じております。

もとより、信用金庫の使命は、産業の発展・雇用促進の基礎を築き、地域の皆さまが暮らしやすい豊かで健康な街の実現を目指すことでもあります。今後も持続的に継続して実効性ある活動を行ってまいりますので、ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆となり恐縮でございますが、この報告書を作成するにあたり、多くの方々にご協力いただきましたことに感謝とお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

奈良信用金庫

理事長 大歳 清次

はじめに

この奈良市観光振興プロジェクトは、奈良市の重要産業である「観光振興」を具体化させるべく、調査・検討を行い、実効性のある取組みを提言することを主目的としている。

検討体制としては2011年10月に地域連携協定を締結した奈良県立大学と奈良信用金庫を中心とした体制とし、そこに信用金庫の中央機関である信金中央金庫が参加して、2012年9月に発足した。さらに、奈良市と奈良市観光協会の協力を得ながら、これまで月1回程度会合を持ち協議を重ねてきたものである。

本プロジェクトでは、発足以降奈良市の観光振興を具体化させるべく、以下の活動を行ってきた。

< 活動内容 >

- ① 現状把握・課題検討
- ② 各種アンケート等の調査実績
- ③ 関係者ヒアリング
- ④ 調査結果の分析、結果の取りまとめ
- ⑤ 中間報告（2013年5月）
- ⑥ 提言内容の検討・実践
- ⑦ 最終報告（2013年11月）

奈良市観光振興プロジェクト 報告書

目次

あいさつ（奈良県立大学学長、奈良信用金庫理事長）

はじめに

I. 奈良市観光の現状	1
1. 奈良市観光の動向	1
2. 奈良市の観光交流推進策	2
3. 奈良市観光の現状	4
II. 奈良市観光振興の方向性	20
1. 奈良市観光の課題	20
2. 奈良市観光の将来像	21
3. 奈良市観光の方向性	22
III. 奈良市観光振興への実践	23
1. 観光リーフレット（散策マップ）作成	23
2. 奈良の過ごし方100のコンテンツ	25
IV. 今後の取組み	31
1. 本プロジェクトで検討した方向性の実現アプローチ	31
2. モデル地区における活動内容案	32
3. 奈良市（行政）の取組み課題案	32
4. ならまち整備による経済波及効果	34
5. まとめ	36
おわりに	38
付属資料	40
1. 宿泊施設向けアンケート	41
2. 宿泊者向けアンケート	43
3. 信金旅行者向けアンケート	45
4. 「奈良市観光振興プロジェクト」の活動経緯	47
5. 観光シンポジウム等の案内	50
6. 調査担当スタッフ	58

I. 奈良市観光の現状

本章では、さまざまな既存調査や計画、地域関係者へのヒアリング調査から、奈良市観光の現状を整理する。

1. 奈良市観光の動向

奈良市の観光入込客数調査報告（平成 23 年度）を見ると、平成 23 年度の実績で入込客数は 1,313 万人、うち宿泊客数は 135 万人となっている。

平成 22 年度に平城京遷都 1300 年祭があったため、平成 22 年度には入込客数 1,842 万人、宿泊客 195 万人となったがイベント時のみの一過性に終わり、それを除けば減少傾向にあり、平成 27 年度の目標値達成は困難な状況となっている。特に宿泊客数に関しては 4 年間で現状の倍増近くにすることが求められており、目標達成が容易ではないことが伺える。

（図表 I - 1）奈良市の観光客数推移

	平成23年度	平成27年度	比較
観光入込客数	1,313万人	1,491万人	113.6%
宿泊客数	135万人	240万人	177.8%

つまり、奈良市の観光は大規模なイベントが開催される年には宿泊客数も増加するが、それが終了すると減少傾向となっており、このことから、イベントが一過性のものであり、それを契機とした奈良のリピーター（ファン）作りができていないといえる。

また、宿泊客数の内訳を見ると 135 万人中、修学旅行生は約 10 万人、外国人は約 3 万人で残りの 120 万人以上は日本人の一般旅行者となっている。かつては、修学旅行先としてにぎわった奈良市内の宿泊施設業者の中には、修学旅行生のみを対象としたサービスに偏重しているところも未だ多く見られ、個人旅行が主流となってきている昨今の旅行形態の変化や外国人観光客の増加に合わせて、ターゲットを再検討し、それに見合った施設・サービス面の対応をすべき時期といえよう。

さらに、観光庁の統計調査によれば、奈良県の観光入込客数は全国 17 位（都道府県別）である一方、延べ宿泊者数は 46 位となっており、奈良を訪れる観光客数に対して宿泊する人が極めて少ないという事実がある。つまり、現状の宿泊満足度が低いといえ、宿泊・滞在型観光地としての魅力向上が必要不可欠である。

(図表 I - 2) 奈良市の観光客数内訳推移 (単位: 千人)

		平成21年	平成22年	平成23年	平成22年度		平成23年度	
					増減	前年との比較	増減	前年との比較
一般	宿泊	1,291	1,808	1,230	517	40.05%	▲578	▲31.97%
	日帰	11,486	14,952	10,915	3,466	30.18%	▲4,037	▲27.00%
	計	12,777	16,760	12,145	3,983	31.17%	▲4,615	▲27.54%
修学旅行	宿泊	92	95	96	3	3.26%	1	0
	日帰	690	931	720	241	34.93%	▲211	▲22.66%
	計	782	1,026	816	244	31.20%	▲210	▲20.47%
外国人	宿泊	43	53	30	10	23.26%	▲23	▲43.40%
	日帰	364	576	144	212	58.24%	▲432	▲75.00%
	計	407	629	174	222	54.55%	▲455	▲72.34%
合計	宿泊	1,426	1,956	1,356	530	37.17%	▲600	▲30.67%
	日帰	12,540	16,459	11,779	3,919	31.25%	▲4,680	▲28.43%
	計	13,966	18,415	13,135	4,449	31.86%	▲5,280	▲28.67%

※ 平成 22 年度は遷都 1300 年

2. 奈良市の観光交流推進策

奈良市は、平成 21 年度から平成 30 年度までを実施期間とした観光交流推進計画 (平成 22 年 3 月) を作成している。その中で、奈良市の観光が抱える課題分析を行っており、以下の 3 点を課題として抽出し、解決のために重点的に取り組む施策もあげている。

《課題》

① 観光資源の魅力向上

奈良市は数々の世界遺産をはじめとして、歴史・文化の豊富な観光資源を有している。しかしながら、そのような名所旧跡を観光した後に、立ち寄りたくなる飲食店や、買いたくなる土産物などの質・量が不十分であり、奈良市内での消費が進まず地域経済の振興に十分につながっていない。

また、伝統芸能や工芸など「鑑賞」「体験」する価値の高い魅力を有しながら、それを楽しめる場所や機会が少なく、観光資源として埋もれてしまっているものも少なくない。

このような課題の克服に向け、奈良が持つ様々な資源の魅力を引き出し、観光振興につなげていく必要がある。

② 情報発信の充実とおもてなしの心の醸成

奈良市においては、統一的なプロモーション活動や効果的な情報発信が十分になされていないため、上記のような魅力ある資源が知られず、観光振興につなげられていないケースがある。また、市民や事業者自身が奈良市の歴史的・文化的魅力を十分に

理解しきれておらず、それがおもてなしの心に欠けると指摘される背景になっている可能性がある。

このような課題の克服に向け、効果的・統一的な情報発信や観光プロモーションの仕組みを整えるとともに、市民や事業者が研究者や寺社等と連携して奈良の歴史・文化への理解を深め、より充実したおもてなしができるようにしていく必要がある。

③ 観光客を迎える環境の整備

来訪者が快適に観光を楽しむための基本的な環境として、駅の案内板やバスの路線系統、案内標識などの中には、主要観光施設への経路がわかりにくい部分がある。このような点については早急に点検し、改善を図る必要がある。

春・秋を中心とした観光シーズンには交通渋滞が慢性的に発生しており、自転車等其他の移動手段の有効な活用を含めた対応が求められている。また、首都圏や中京圏の人などから漠然と「奈良は遠い」というイメージを持たれており、京阪神からのアクセスの良さなどを具体的に周知していくことなども求められる。

奈良には大規模なホテルが少なく、大規模なイベント・コンベンションの需要に答えられない、また、宿泊観光の需要に答えられていない、といった課題がある。

《解決のために重点的に取り組む施策》

① 資源を育てる

- ・ 伝統文化・伝統行事・伝統工芸の体験や伝統芸能の鑑賞等、体験・鑑賞に関するメニューを充実させ、旅行会社等と連携し、観光客の増加を図る。
- ・ 奈良ならではの神社仏閣と古墳や遺跡、そして、奈良公園をはじめとする豊かな自然と古い町並を歩いてめぐるウォーキングコースを設けているが、コースの詳細と観光施設等の情報をホームページで公開し、歩いてこそその奈良の魅力を紹介する。
- ・ 春日山原始林、月ヶ瀬、柳生等の自然資源を活用したウォーキング・イベントを開催し、奈良を歩こうキャンペーンを展開する。
- ・ 大学や社寺と連携することにより、奈良を深く知るための講座等を開催し、観光客の多様な欲求に応える。
- ・ 柳生の里の潜在的な魅力を地域とともに掘り起こし、観光資源として活用を図る。
- ・ 開発した「大和鍋」の普及啓発を図ることとし、ブランド化に向け、検討する。

② 魅力を分かち合う

- ・ 「奈良に訪れたい」と思う情報発信、奈良を訪れた人が快適に観光できる案内情報の提供、観光客の感想・要望を改善できる仕組みづくり、旅行会社やマスコミへの情報発信が一体となったシステムを構築する。

- ・ JR奈良駅前の旧駅舎を活用して開設した観光案内所の機能を充実して、観光客の移動、宿泊、伝統工芸の体験など各種の案内が可能なおもてなしの拠点を目指すとともに、新たな観光案内所の開設についても検討を進める。
- ・ 高校生を観光特派員に任命し、修学旅行や部活動の遠征などの機会、また、本市で開催される大規模な大会の機会を利用し、奈良市の観光PRを行い、若年層の誘客を図る。
- ・ 外国人観光客向けのガイドブックやホームページなど観光情報発信ツールの充実を図る。

③ 環境を整える

- ・ 着地型観光のコーディネート機能を強化するため、奈良版のランドオペレーターについて検討する。
- ・ 春・秋の観光シーズンにパーク・アンド・ライド6の事業を実施しているが、より一層その周知を図り、その拡大を図る。また、この事業で使用している自転車の観光シーズン以外の利用等について検討する。
- ・ 主要駅から主要観光地までの案内板について、景観上の統一性や重複の有無、見やすさなどについて点検を行い、改善を進める。

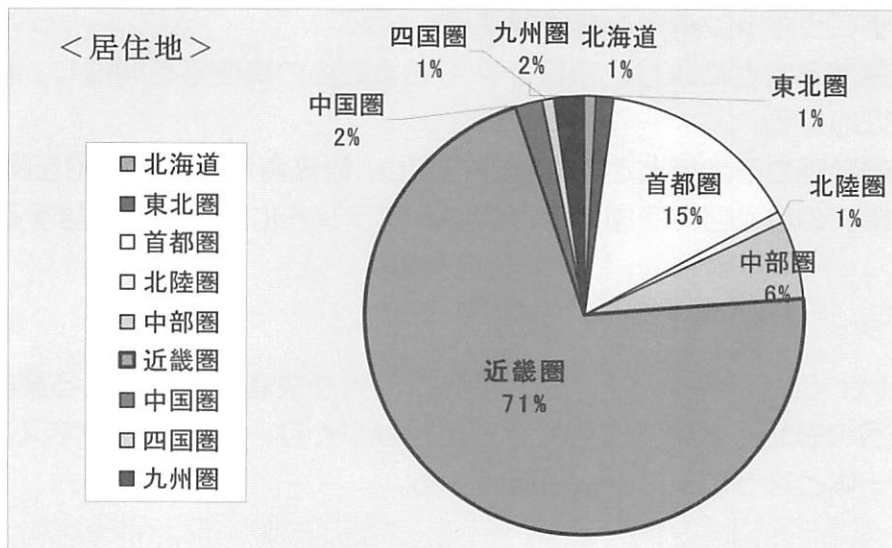
3. 奈良市観光の現状

(1) 観光客の動向（平成23年度奈良市観光戦略基礎調査より）

① 市内主要駅での聞き取り調査結果（対象：3,623人）

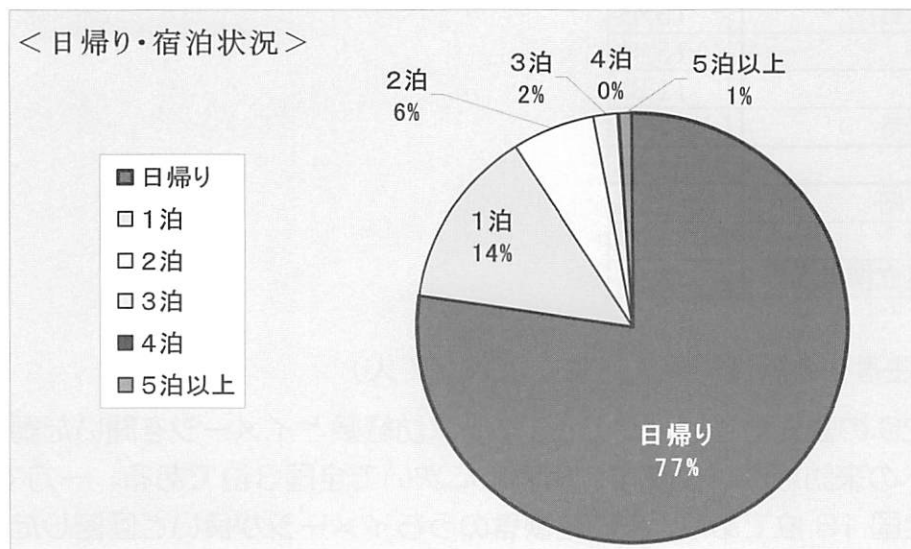
- 観光客の6～7割は近畿圏からの観光客となっている。つまり、奈良市はもともと「泊まらなくてもいい距離」からの観光客が多く、周りの他府県に宿泊をとられているわけではない。

(図表I-3) 観光客の住所



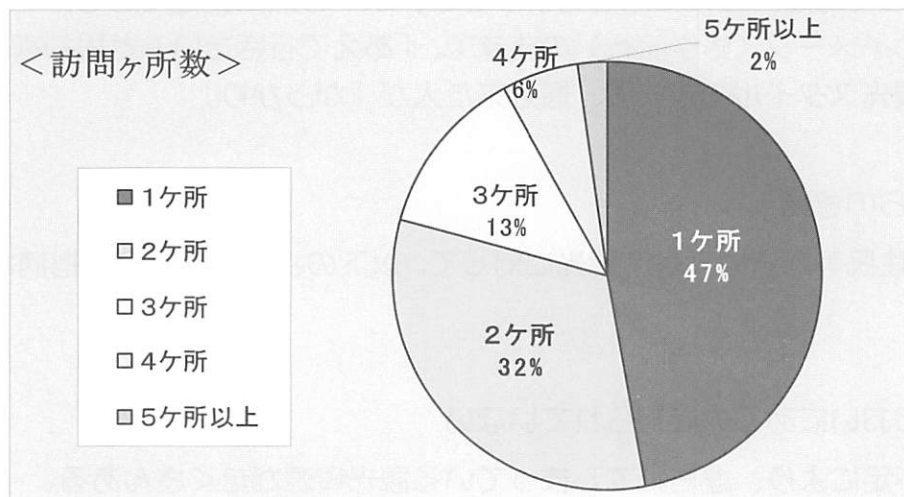
- 奈良市に滞在する魅力を感じておらず、観光客の約8割が日帰りである。しかも宿泊客の6割は1泊のみとなっており、長期滞在者が少ない。

(図表 I - 4) 日帰り・宿泊割合



- 8割の観光客は2ヶ所までの訪問にとどまっている。奈良に来て複数の訪問先をじっくり楽しむ人は少ないといえる。また、立ち寄る先も定番といえる東大寺や奈良公園、春日大社、興福寺などのスポットが中心で、奈良市の観光イメージである「鹿と大仏」以外への立寄りはない。

(図表 I - 5) 観光客の訪問箇所数



(図表 I - 6) 訪問地上位 10

順位	訪問地	割合
1	東大寺	33.7%
2	奈良公園	19.2%
3	春日大社	15.4%
4	興福寺	15.4%
5	薬師寺	11.8%
6	唐招提寺	7.7%
7	西大寺	6.6%
8	平城宮跡	4.9%
9	元興寺	4.2%
10	奈良国立博物館	3.3%

② 全国主要都市居住者への調査結果 (対象：29,477 人)

奈良市を含めて 29 の観光地をピックアップし、来訪経験とイメージを聞いた調査によれば、奈良市への来訪経験は京都市、横浜市に次いで全国 3 位である。一方で、イメージの良さは全国 13 位であり、来訪経験者のうちイメージが良いと回答したのは 45%程度にとどまっている。

さらに、奈良市への来訪経験を持つ 1,054 人に改めて聞くと、修学旅行等の学校行事でのみ来訪している割合が 40%を占めている。この修学旅行でしか奈良市に行ったことがない人に奈良市の魅力度を聞いても、魅力を感じるという回答は低い。また 70%の人は、過去 5 年間に奈良市を訪問していない。

この結果を見ると、奈良は「昔の(修学旅行)記憶から、大人になった今 行きたいと思わない所」になっているということいえる。つまり、「行ったことのある」人から見て、魅力不足なのであろう。奈良に来た人が、満足できず、奈良に良いイメージを持っていないのである。その要因を分析すると、以下 2 点に整理できる。

- ① 古い観光地のイメージ(修学旅行)のまま、「あえて行きたい」と思わない
- ② 実態が古い観光スタイルのまま、最近来た人が「がっかり」

(2) 事業者等からの意見

市内の事業者や住民等からは奈良市観光に対して、以下のような問題点が指摘されている。

- 観光資源がおおいにあるのに知られていない
 - ・ 情報発信不足により、埋もれてしまっている観光資源がたくさんある。
 - ・ 奈良観光のイメージが固定化されてしまっており(大仏・鹿)、他の資源にスポットがあたらない。
 - ・ 知る人ぞ知るスポットが多すぎる。

- イベントがないと奈良に来ない
 - ・ 春の桜や秋の正倉院展等、イベント時以外は客足が伸びない。
 - ・ 春・秋は自然と人は集る。閑散期（夏・冬）にもっとイベントを仕掛ける必要がある。
 - ・ イベントがあってもPRが遅い、PR不足により集客効果が上がらない。
- 食の楽しみがない
 - ・ 奈良といえばこれ！といった、名物料理がない。
 - ・ 夕方になると多くの飲食店が閉まってしまい、夕ご飯やお酒を飲んでゆっくり過ごせる場所がない。
- 交通アクセスが不便
 - ・ 観光施設から次の観光施設へ行く交通手段、かかる時間がわかりにくい。
 - ・ バスの本数が少なく、空いた時間をどう過ごしたらいいかわからない。
 - ・ 県外（特に関東方面）から、奈良までのアクセスがわかりづらく、時間のかかる遠い所というイメージを持たれている。
- 奈良の人が奈良の魅力をわかっていない
 - ・ 奈良の住民の多くは大阪・京都等で働いており、観光地としてではなく、生活空間として認識している。
 - ・ 観光資源が身近にあるので、当たり前すぎて、観光資源の魅力に気づいていない。

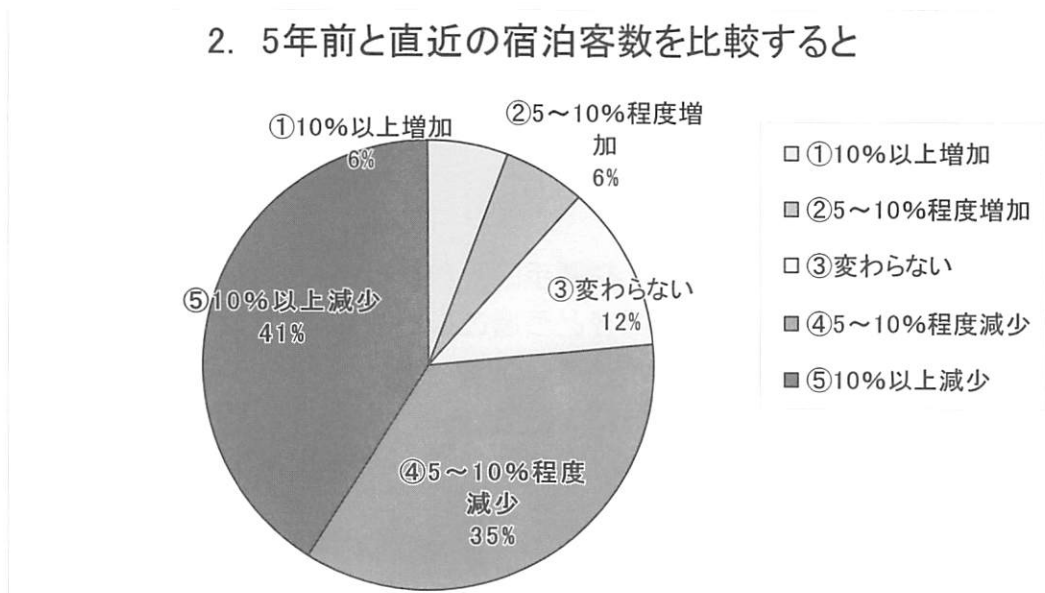
一方で、有識者や観光客からは、こうした声も聞かれた。

- 奈良はそのままかわらないでほしい
 - ・ 疲れた体を癒してくれる懐の深さを感じる奈良。奈良は押しずに王道をいってほしい。
 - ・ 観光化されすぎていないところが、ほっとする。

(3) 市内の宿泊施設の現状（奈良市観光振興プロジェクト「平成 24 年度宿泊施設実態調査」より、回答：22 施設）

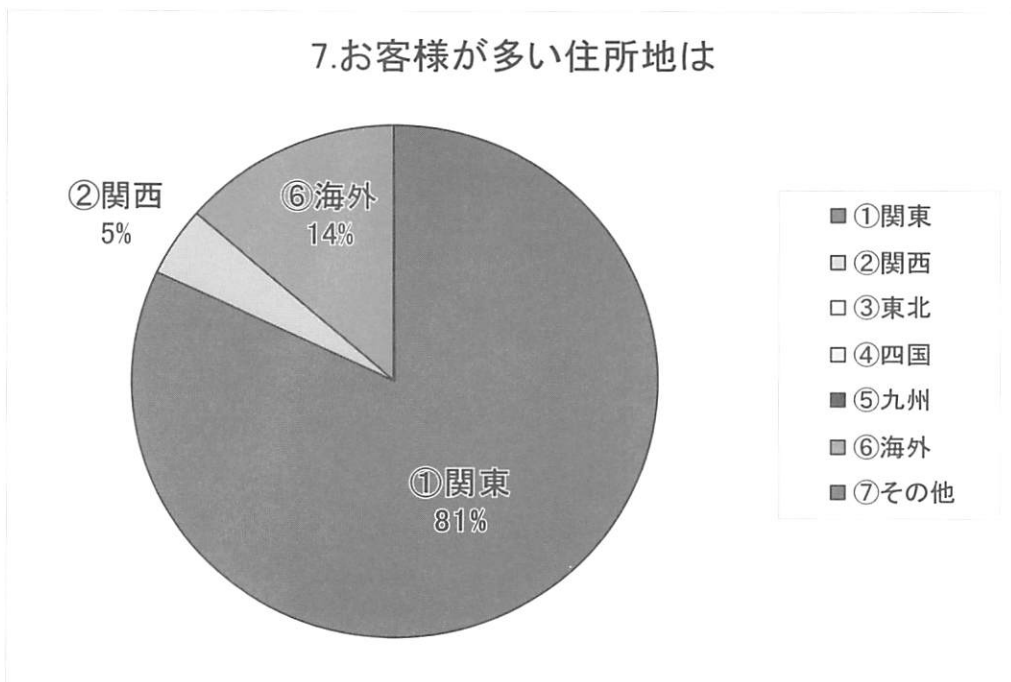
■ 5年前と比較すると宿泊施設の7割以上が客数減少と回答している。

(図表 I - 7) 宿泊客数の動向



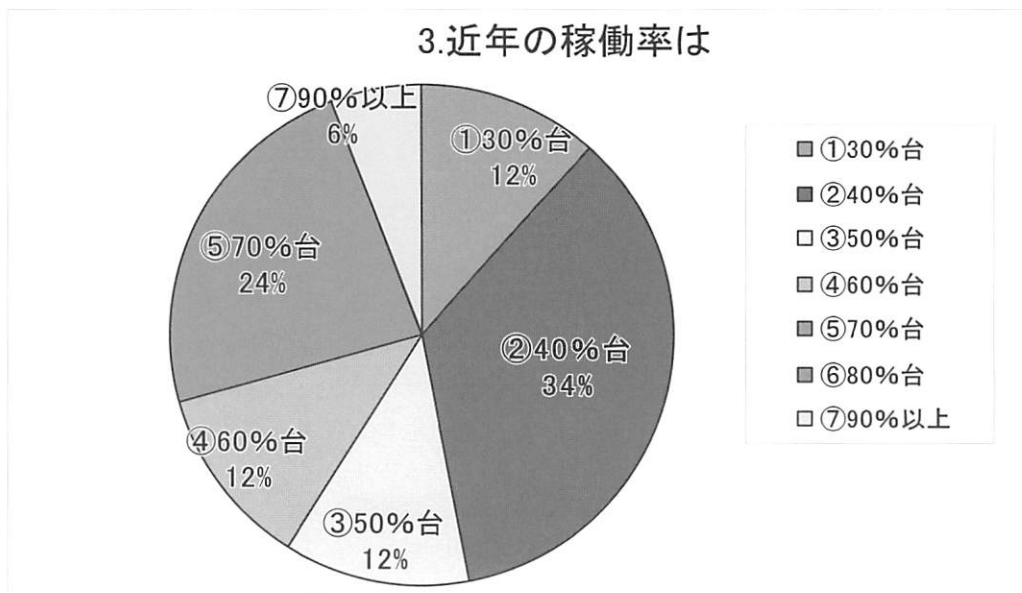
■ 宿泊のお客様としては関東圏の方が8割以上と圧倒的に多く、関西圏はわずかである。宿泊者を増やすためには関東圏から誘客する必要がある。

(図表 I - 8) 住所地



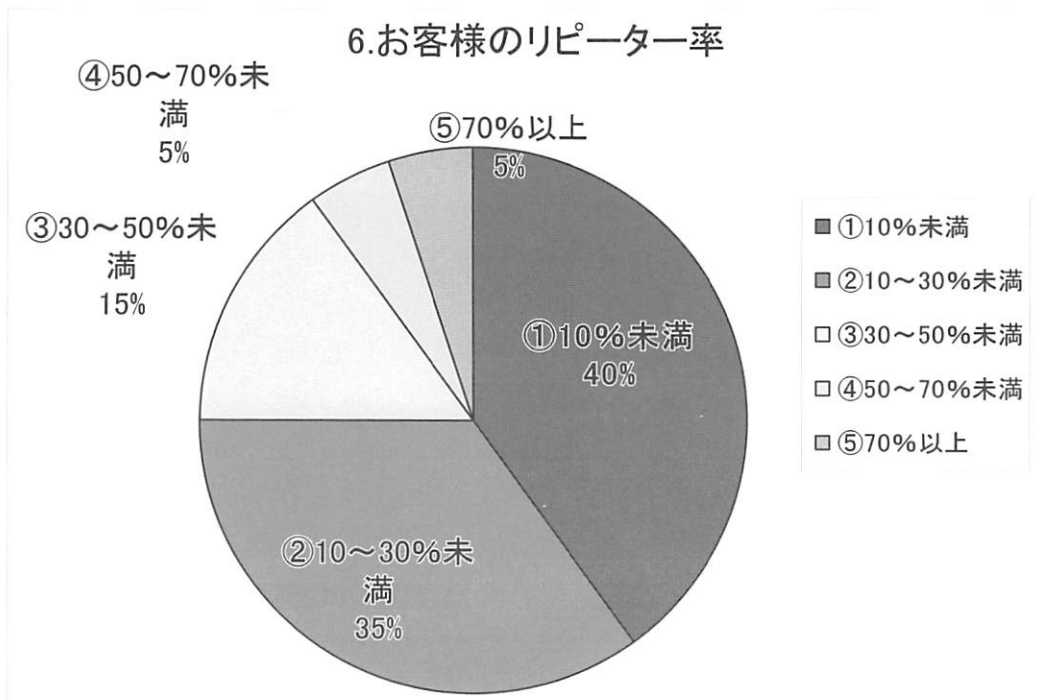
- 客室稼働率も50%以下が約半数となっており、宿泊施設の経営環境の厳しさがうかがえる。

(図表 I-9) 稼働率



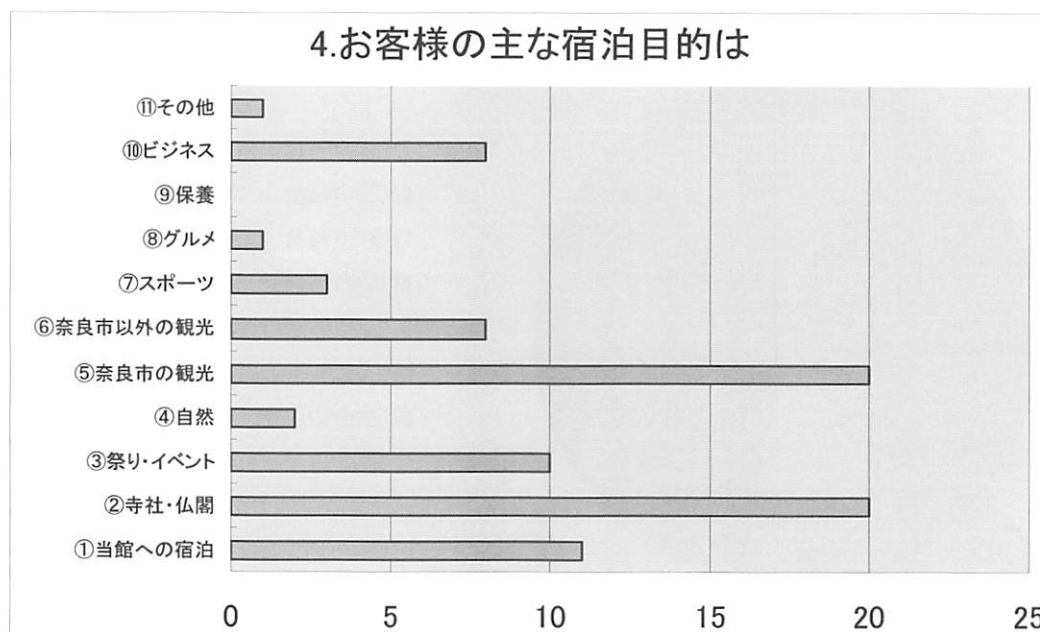
- 4分の3の宿泊施設がリピーター率30%未満であり、新規客の獲得によって客数を維持しており、安定的な客数確保にはつながっていない。

(図表 I-10) リピーター率



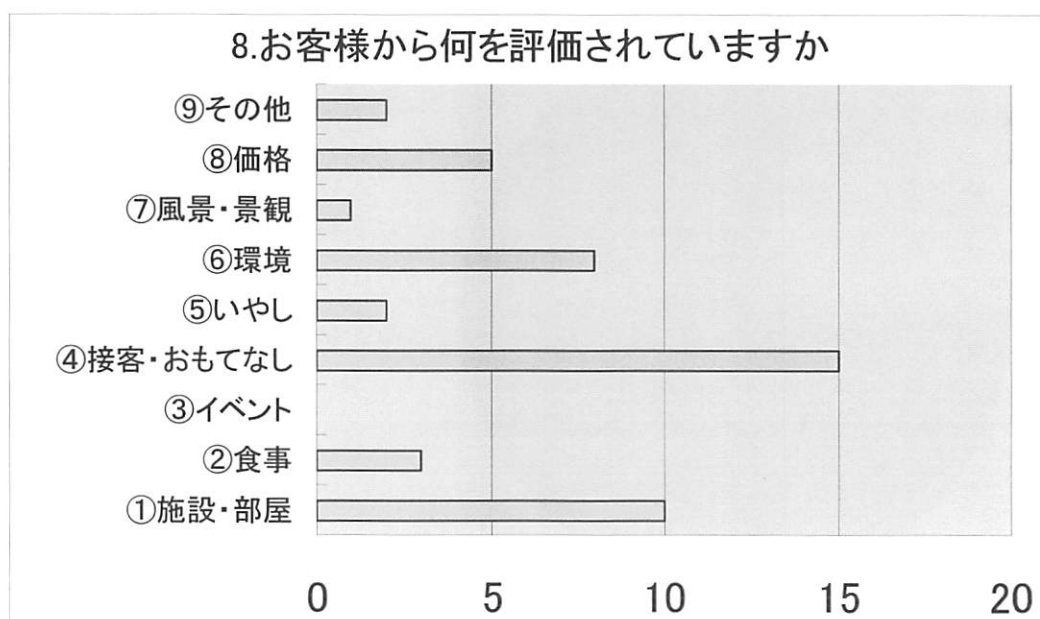
- お客様の宿泊目的は寺社・仏閣を含めた奈良市の観光であり、特定の宿泊施設への宿泊を目的とする人は少ない。魅力ある宿泊施設が数少ないといえよう。

(図表 I - 11) 宿泊目的



- 宿泊施設自らの評価では接客・もてなしが非常に高くなっているが、お客様の声を聞く限りでは、ホスピタリティが高いとは思えない。お客様との間にギャップがあると思われる。

(図表 I - 12) お客様からの評価



また、経営者からは宿泊施設で抱えている課題として、以下の点があがった。

- 旅行代理店頼みの営業スタイルからの脱却
- サービス向上、いやし提供等、宿泊自体を目的としていただけるような従業員教育の徹底
- 時代のながれに沿った経営改革（団体客向け→個人客向け施設への転換等）
- 経営者の意識改革

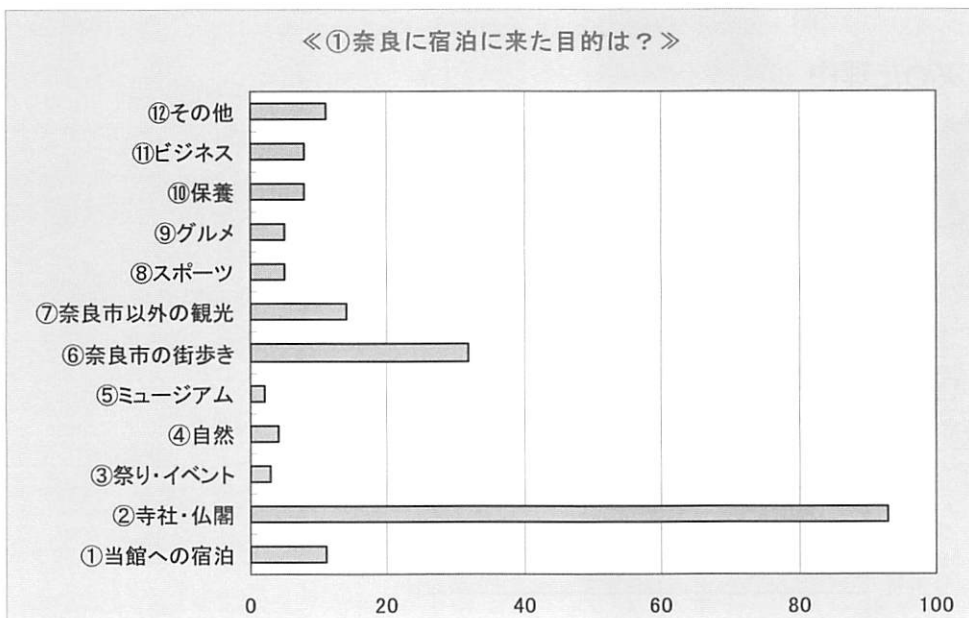
さらに行政への要望事項として、以下の点があがっている。

- 南部（吉野、桜井、飛鳥）との連携
- 一貫性のある広報活動（パンフレット等改善が必要）
- 寺社との連携（寺社と連携したイベント）
- イベントの告知活動に関するスピードカ・PR力の向上

（4）宿泊者からの評価（奈良市観光振興プロジェクト「平成24年度宿泊者調査」より、回答：125人）

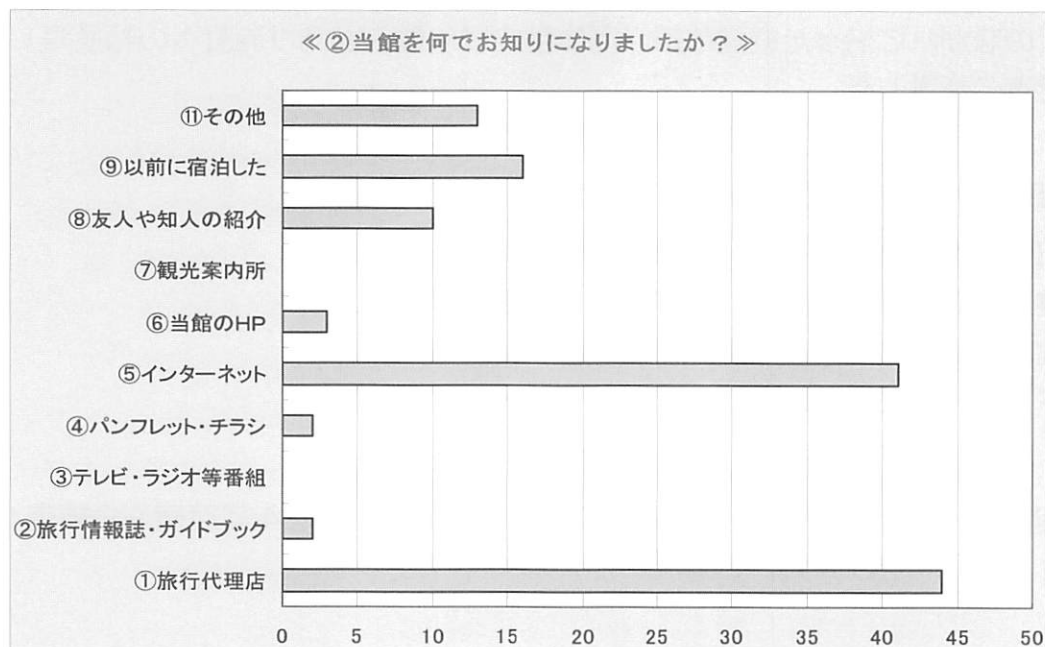
- 実際に宿泊者に宿泊目的を聞いてみると、寺社・仏閣が圧倒的に多く、市内の町歩きが続いているものの、他の観光資源が未活用といえよう。宿泊自体を目的とする宿泊者も低いのが現状である。

（図表 I -13）宿泊目的



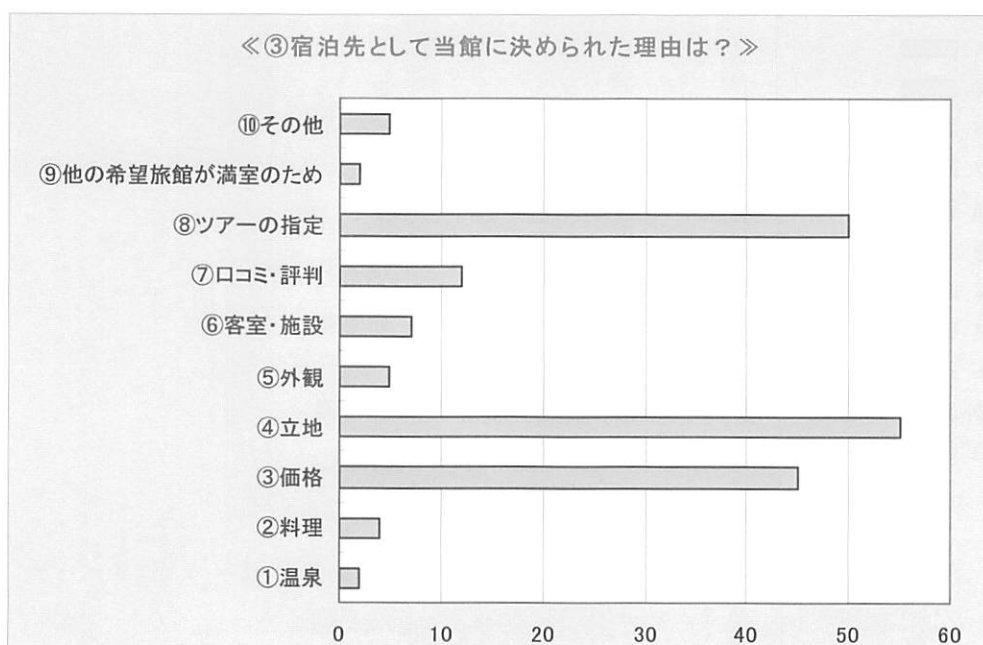
■ 奈良市内の宿泊施設の情報収集先としては旅行代理店が多く、インターネットが続いている。インターネットでの発信活動が不十分といえるのではないか。

(図表 I - 14) 知った媒体



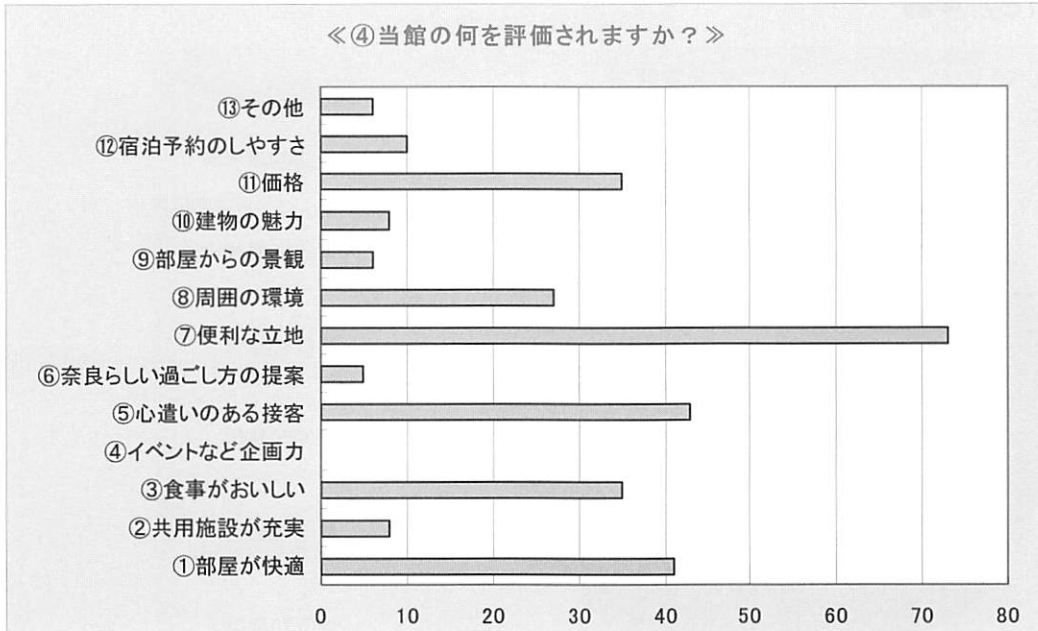
■ 宿泊先を決める理由として便利な立地が50%を超えて高く、ツアーの指定、価格と続いている。口コミ・評判、客室・施設、料理などの割合が低くなっているが、自らの経営努力で改善が可能であり、取組み次第では伸ばすことが可能ではないだろうか。

(図表 I - 15) 決めた理由



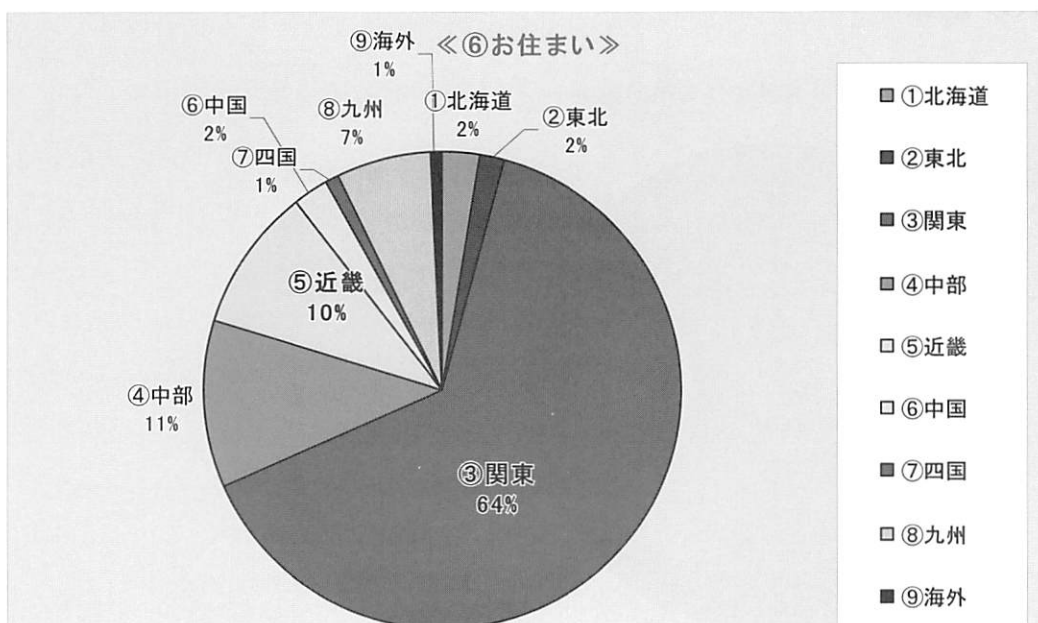
- 実際の評価ポイントも便利な立地が最も高いものの、接客や部屋、価格なども低くなく、評価を高めるのは経営努力次第といえよう。

(図表 I - 16) 当館の評価



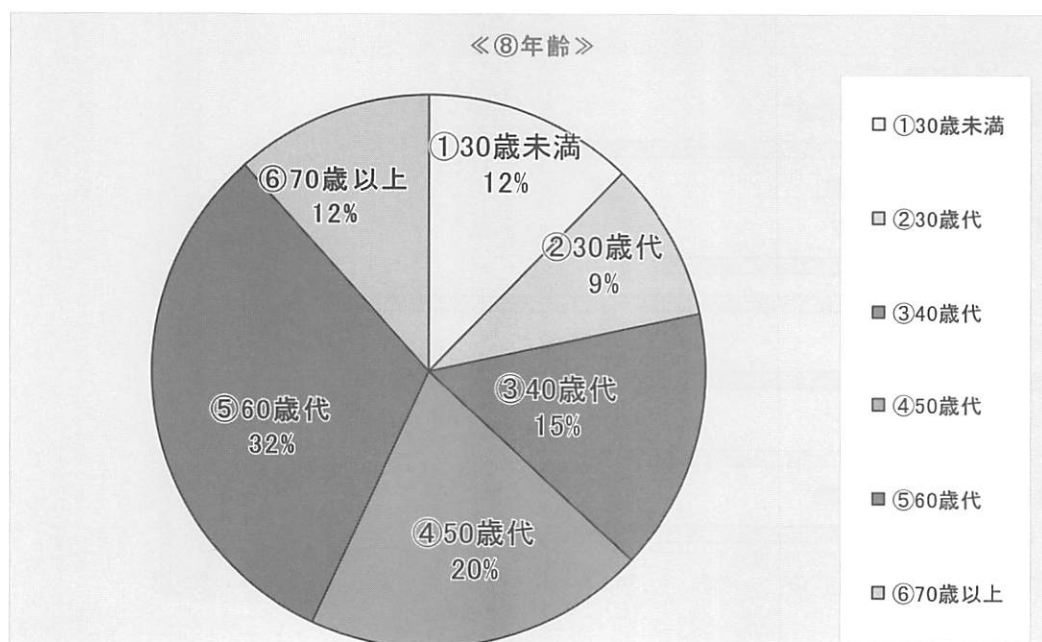
- やはり宿泊者としては関東圏の居住者が多く、次いで中部圏である。九州新幹線開通の効果か、九州圏も7%見られる。

(図表 I - 17) 住まい



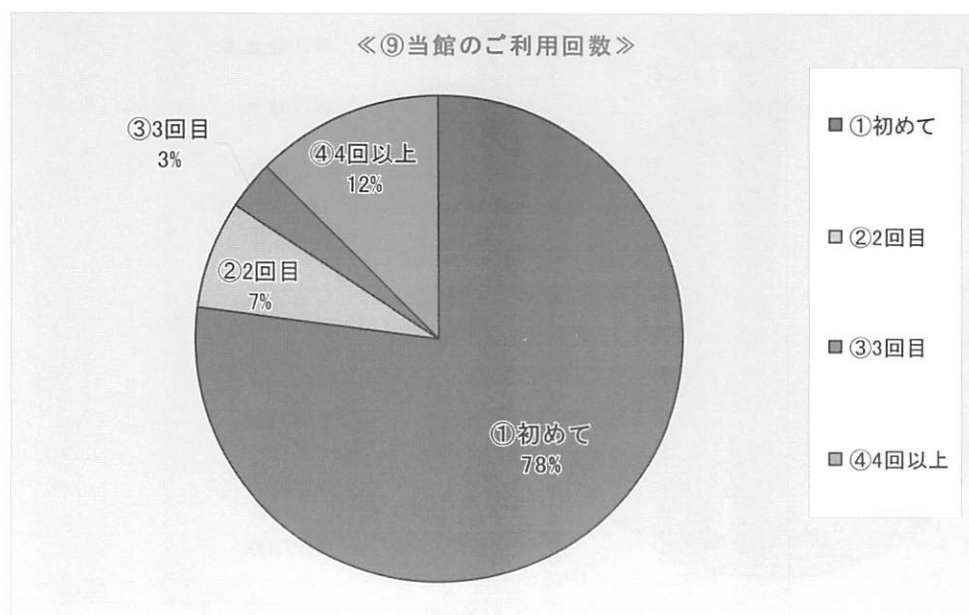
- 50歳代、60歳代、70歳以上で6割を超えており、シニア層に人気のある観光地となっている。若年層に対する掘り起しを行っていかないと、このままでは客数が減少することになる（お客さま（将来のシニア）を育てる）。

（図表 I - 18）年齢



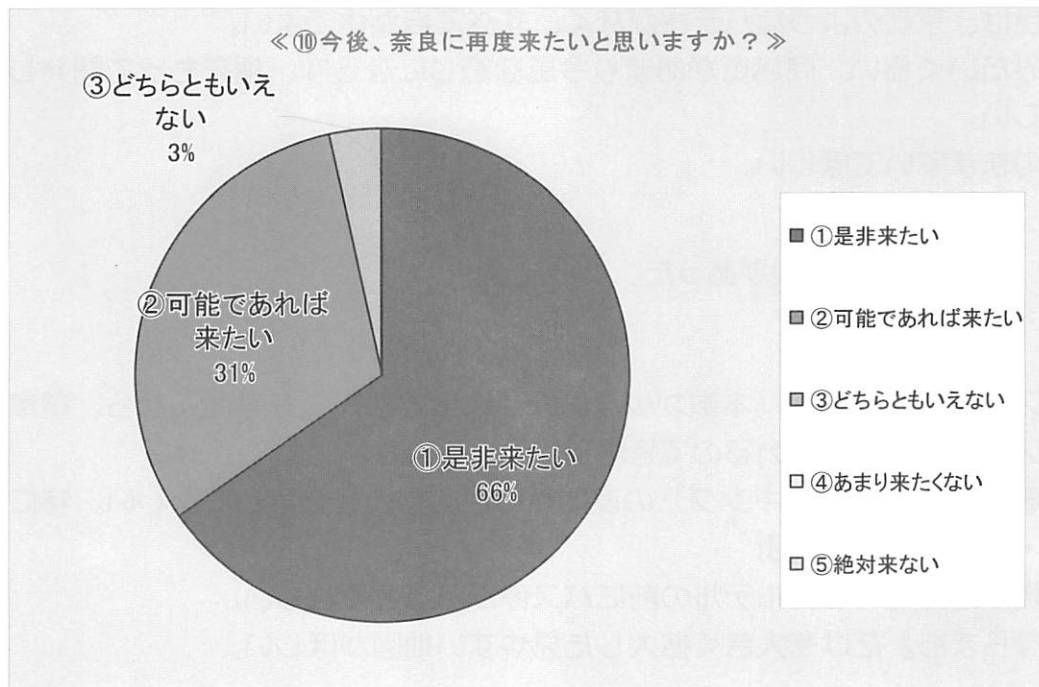
- リピーターといえる2回目以上の宿泊者は2割程度となっている。宿泊施設自体の魅力を向上させ、ファンに育てることが必要であろう。

（図表 I - 19）回数



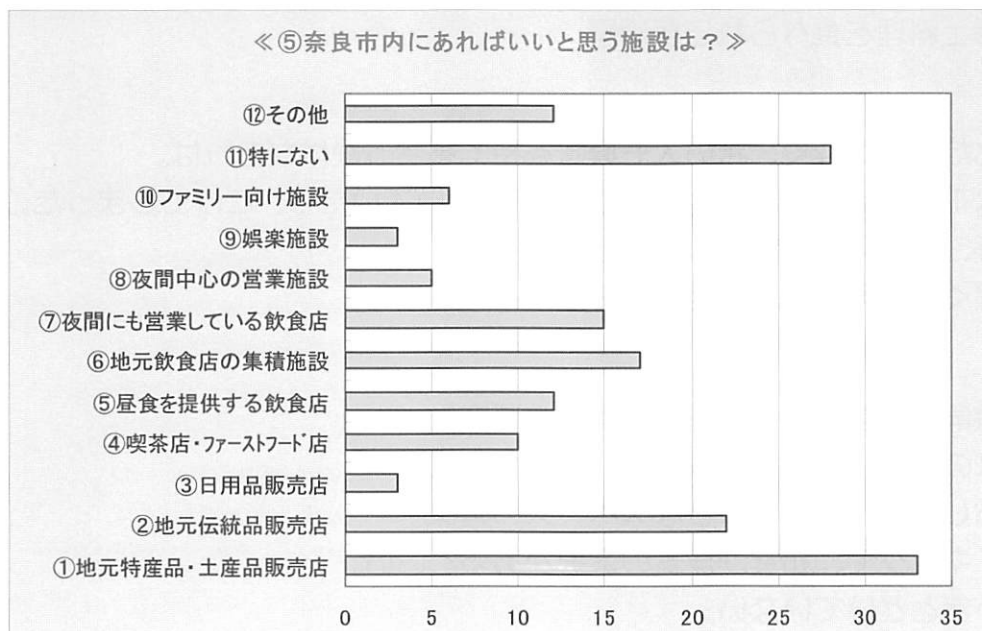
■ 再訪意欲としてはほぼ全員が期待と回答しており、宿泊された観光客の満足度は高いといえよう。

(図表 I-20) 再訪意欲



■ あればいい施設については、特産品等の販売店が最も多いものの、「特に何もない」という回答が2位であり、箱物を作ればいいということではない。

(図表 I-21) あればいい施設



実際、宿泊者からは以下のような評価の声があがっている。

- ・ 奈良の古き良き伝統、空が広くのんびりとした空気が好き。派手な観光地にならないことを望む。
- ・ 奈良のほのぼのした所や、落ちついた雰囲気が良いと思う。
- ・ 奈良は、京都のようなハデさがなく、すべて自然体でよい。
- ・ 住みたいくらい。商店街があまり今風な感じにならず、趣をもって開発してほしい。
- ・ このままでいてほしい。

その他、以下のような要望があった。

● 交通

- ・ バスでの移動が大変（本数が少ない）。「奈良の観光」を考えるなら、電車やバスで移動する人もいたので考慮頂けるとうれしい。
- ・ 駐車場（コインパーキング）の夜間うちどめ割引を充実して欲しい。特に、土・日・祝の夜間割引
- ・ 荷物が増えるので、ホテルの前にバス停があると嬉しい。
- ・ 『ならまち』だけを大きく拡大した見やすい地図がほしい。

● 土産

- ・ 土産品の格を上げてみてはどうか。
- ・ もっと世界遺産をアピールできるような、バッチ等も販売してみてはどうか。

● 飲食

- ・ JR 奈良駅近くに飲食店がない。
- ・ 奈良の郷土料理を食べられる居酒屋

● その他

- ・ 伝統文化だけではなく、若い人も興味を持てるきっかけがあれば。
- ・ 無意味な花壇はいらない。（地図を見ながら歩いていたら、こけてしまった。）
- ・ 美術館等、年末年始も営業して欲しい。
- ・ 夜中に騒ぐ人の声で何回か目が覚めた

● 宿泊施設

- ・ 施設・設備の改善（便座の温度、お湯の温度）
- ・ サービスの向上（新聞の無料配布、洗面の手拭）
- ・ 数人がおしゃべりできるようなスペースの確保
- ・ 朝食バイキングで、和食か洋食の選択があるといい。
- ・ 清掃がいきとどいていない。

● 奈良らしさ

- ・ 奈良らしさを感じることでできる料理やサービス
- ・ 古都の安らぎ感
- ・ 奈良にしかないもの（神聖な儀式等）
- ・ にぎやかさがなくかわりにある、奈良の昔・のんびりした雰囲気
- ・ 清潔な部屋やロビー等の施設

● おもてなしの心

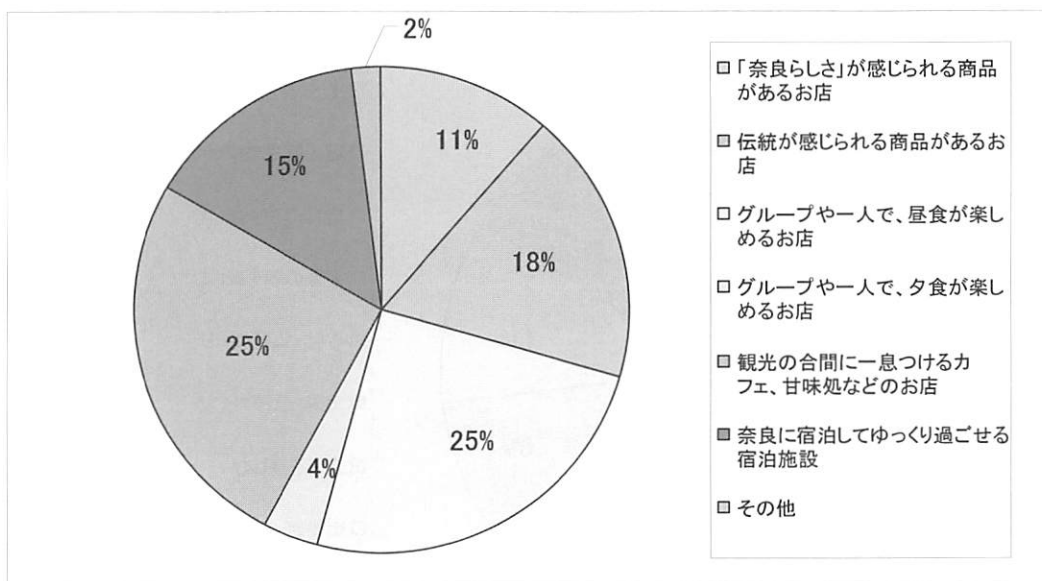
- ・ 快適・清潔、うるおいと安らぎの時間・空間
- ・ 温かいおもてなし・楽しい会話
- ・ ゆっくりした環境（派手な演出はもとめていない）
- ・ のんびりできる空間とやすらぎの時間・空間
- ・ 観光アクセス情報

(5) 日帰り客の評価（平成 24 年度枚方信用金庫年金旅行客への調査より）

2013年3月 枚方信用金庫と連携し「年金友の会」体験型日帰り旅行を企画し、実践。奈良市への観光客の6～7割は近畿県内からの旅行客が多いという事実から、計744名の貴重な意見を聴取できた。

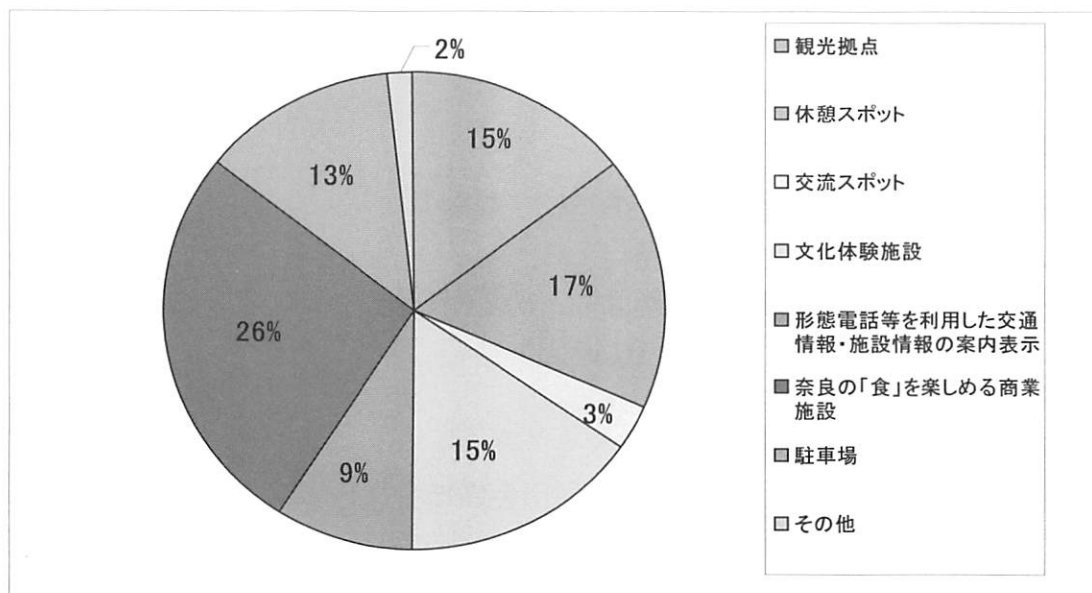
■ グループや一人で昼食が楽しめるお店と観光の合間に一息つけるカフェ等が50%を占めており、奈良観光の主流が昼間であることがうかがえる。

(図表1-22) あればいいお店



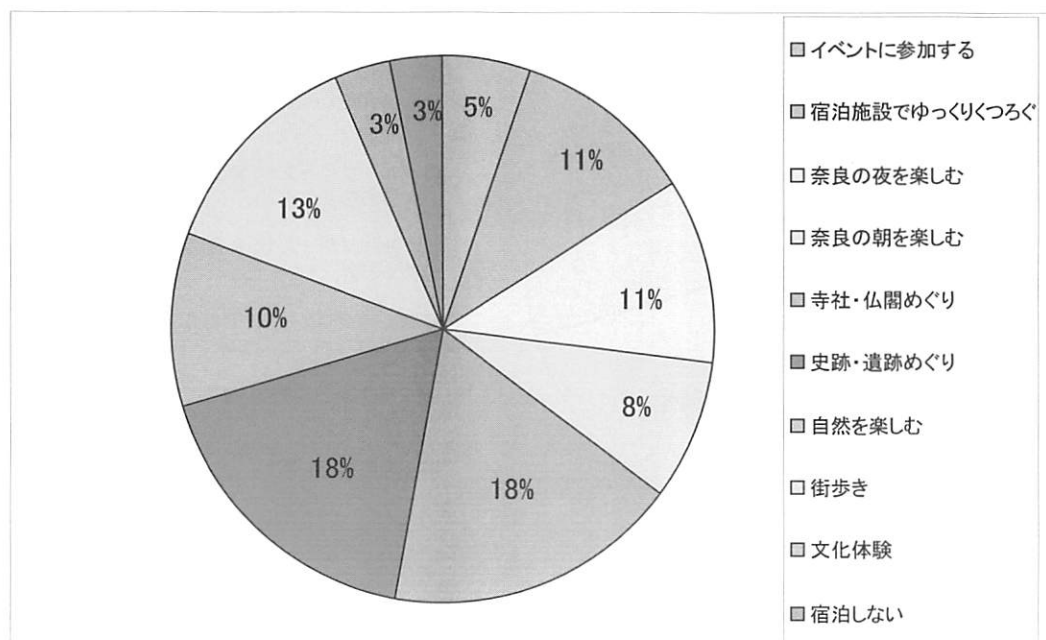
■ 奈良の「食」を楽しめる商業施設が4分の1を占めており、観光の合間をつなぐ「食」の楽しみが少ない印象を与えている。

(図表1-23) あればいい施設



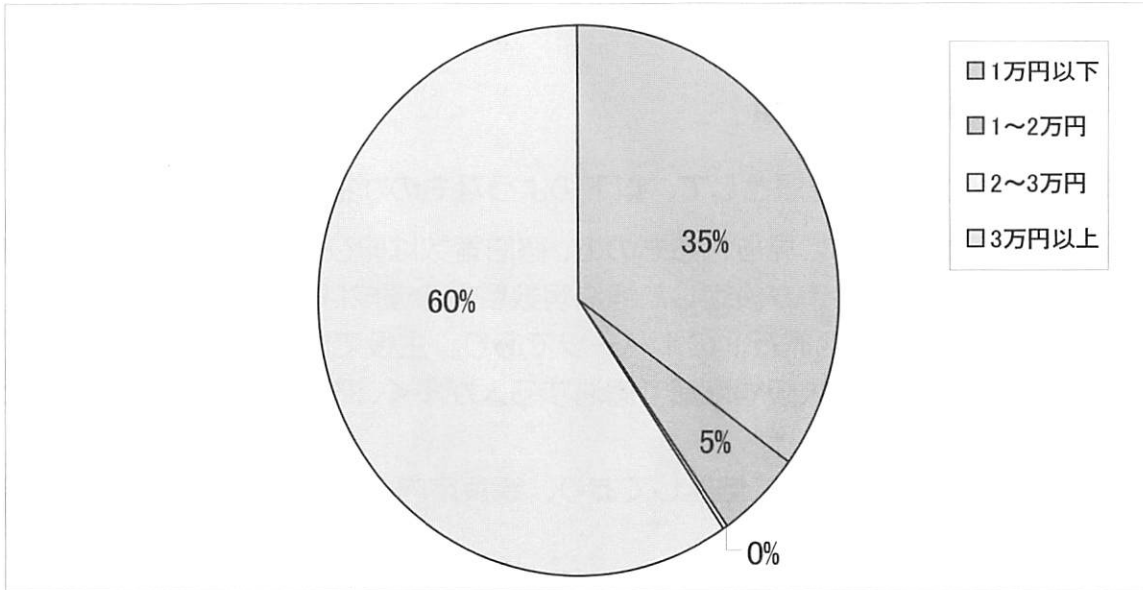
■ 寺社・仏閣、史跡・遺跡巡りが多いものの、自然や町歩き等の要望も多く、発信不足だけで広げられるコンテンツは大いにある。また11%の人が宿泊施設でゆっくりくつろぐことを希望している点も、宿泊型観光を目指す上で注目すべきポイントである。

(図表1-24) 「体験できるなら、奈良に宿泊したい！」と思うもの



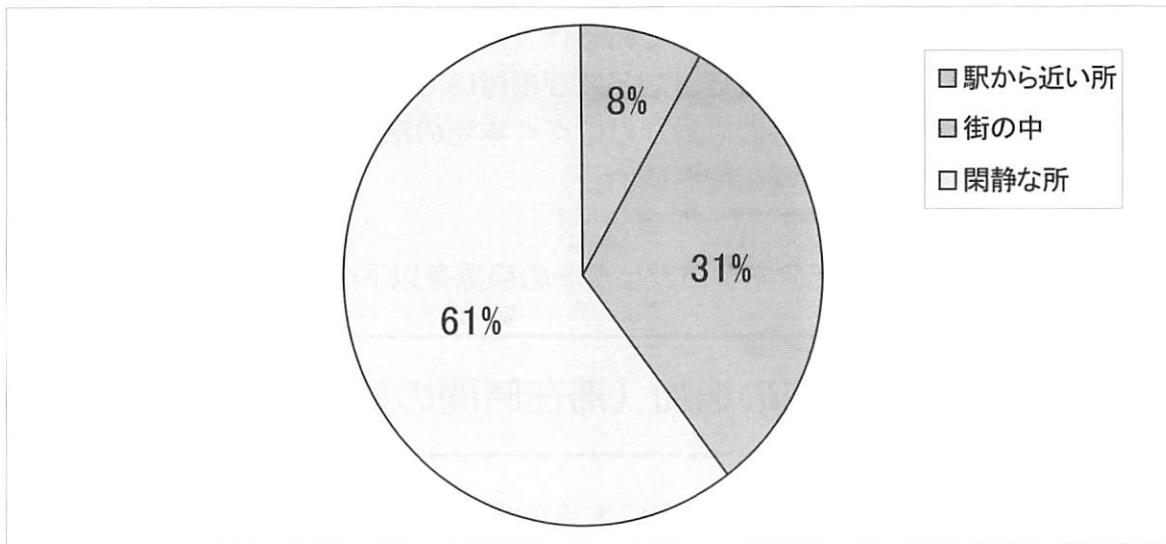
- 低価格を求める声も多い一方で、3万円以上という高級志向が伺える。旅の目的を宿泊施設でのくつろぎとされている旅行者も多い。

(図表1-25) 宿泊施設の価格について



- 宿泊施設の立地については、利便性よりも静かな環境を求める声が圧倒的に多く、リゾートで過ごすような静かで贅沢な時間の提供が求められている。

(図表1-26) 立地について



Ⅱ．奈良市観光振興の方向性

第Ⅰ章で整理した奈良市観光の現状を踏まえ、本章では奈良市観光が抱える課題を抽出するとともに、奈良市観光のコンセプトや将来像を設定する。さらに、現状抱える課題を解決し、奈良市観光の「将来像」を実現するための方向性を設定する。

1．奈良市観光の課題

奈良市の観光が抱える課題として、以下のようなものが抽出できる。

- 観光入込客数は相応に見られるものの、宿泊者数は伸び悩んでおり、現在の延長線上の取組みでは、市が設定した宿泊客数目標の達成は難しい。
- 奈良市観光は、「関西旅行」の1パーツであり、主役ではない。実際、昼に来て夕方には奈良を離れ大阪や京都で宿泊する人が多く、滞在の魅力を感じてもらえていない。
- 稼働率は5年前と比べて低迷しており、奈良市内の宿泊施設数自体が少ないわけでは決していない。
- 奈良市内でも、短時間に有名な観光名所を回り、「話のネタ」になる写真をとって終わりという観光スタイルが主流であり、いわば「スタンプラリー・モデル」となっている。
- 市内の住民は住宅地との認識であり、事業者は受身の姿勢が目立っており、観光客の意識とギャップがある。
- 顧客目線が不足しているのか、市内施設や接遇、サービス等への観光客の満足度が低く、集客に悪影響を及ぼしている。
- 修学旅行が奈良観光の主流だった名残が根付いており、団体旅行にはマッチしているものの、個人旅行客には分かりにくく本当の奈良の味わいは伝わらない。
- 交通標識、情報網等の整備度も低い。

こうした課題を踏まえて、本プロジェクトの目標を以下の通り設定する。

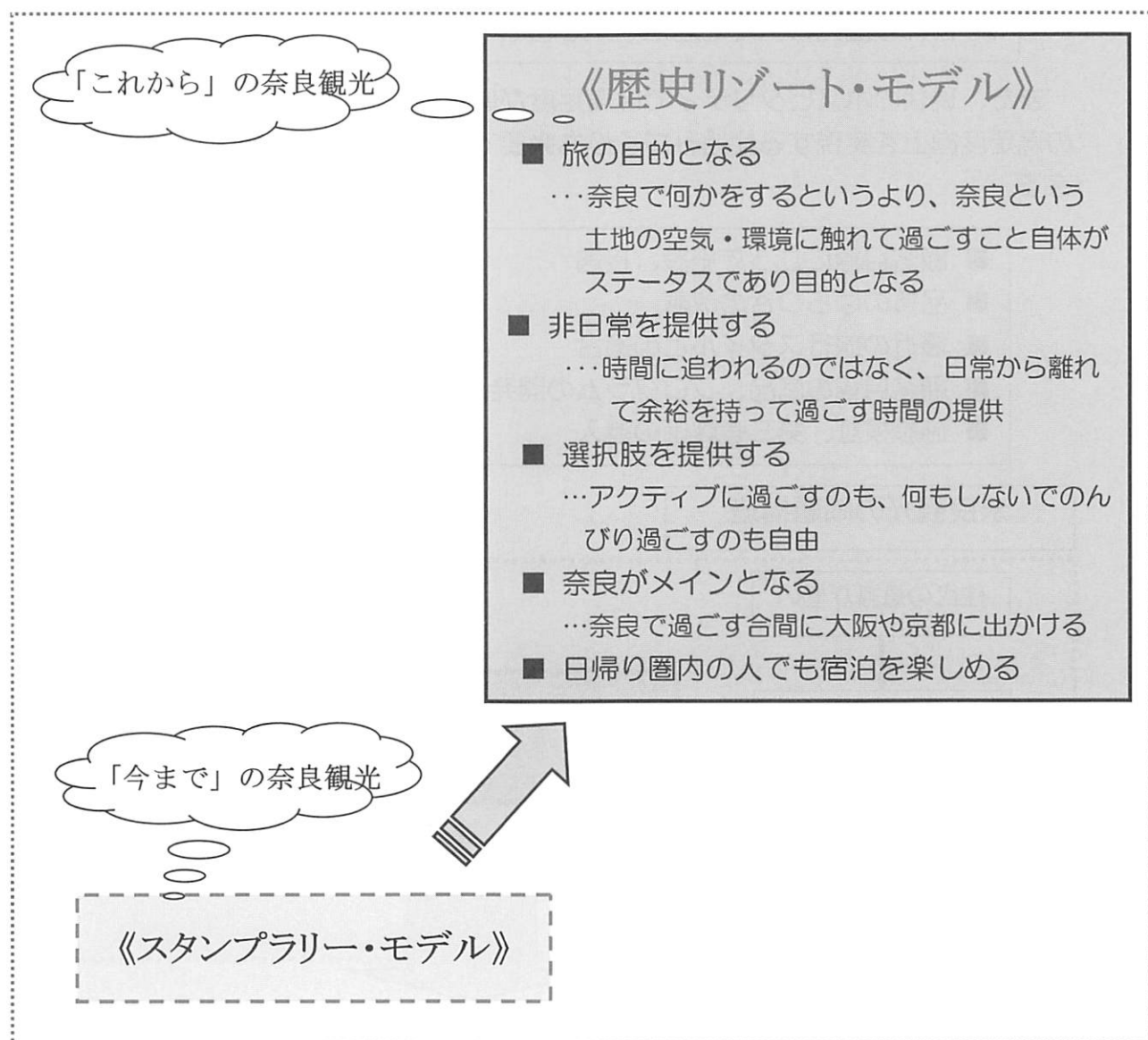
宿泊者数の増加（滞在時間の延長）

宿泊者数増加が実現できれば、市内に大きな経済効果が期待でき（実際、奈良市観光入込客数調査（平成23年度）によれば、日帰り客の平均消費金額は3,565円に対して、宿泊客は20,257円と6倍近い消費が行われている）、奈良市の産業の活性化に繋がる。

2. 奈良市観光の将来像

宿泊客数の増加を目指すためには、これまでのような「スタンプラリー・モデル」から転換し、新たな観光モデルを構築する必要がある。

そこで、これまでも これからも 奈良市に存在する最大の財産である「歴史資源」と、成熟した日本の観光のあり方である「時間に追われず過ごす自由さ(=リゾート)」を組み合わせた観光モデルとして『歴史リゾート・モデル』の構築を目指すことにする。



歴史リゾートを一言で表現すると、「奈良という“いにしえ”から続く歴史ある町が作り出す環境・空気感に触れることで、タイムトリップをしているような奈良時間という非日常感を提供すること」になる。

このモデル構築にあたってのコンセプトは「ゆっくり・ゆったり・ほっこり」奈良をお客さまに味わって頂くこととし、「奈良時間」とはその象徴である。

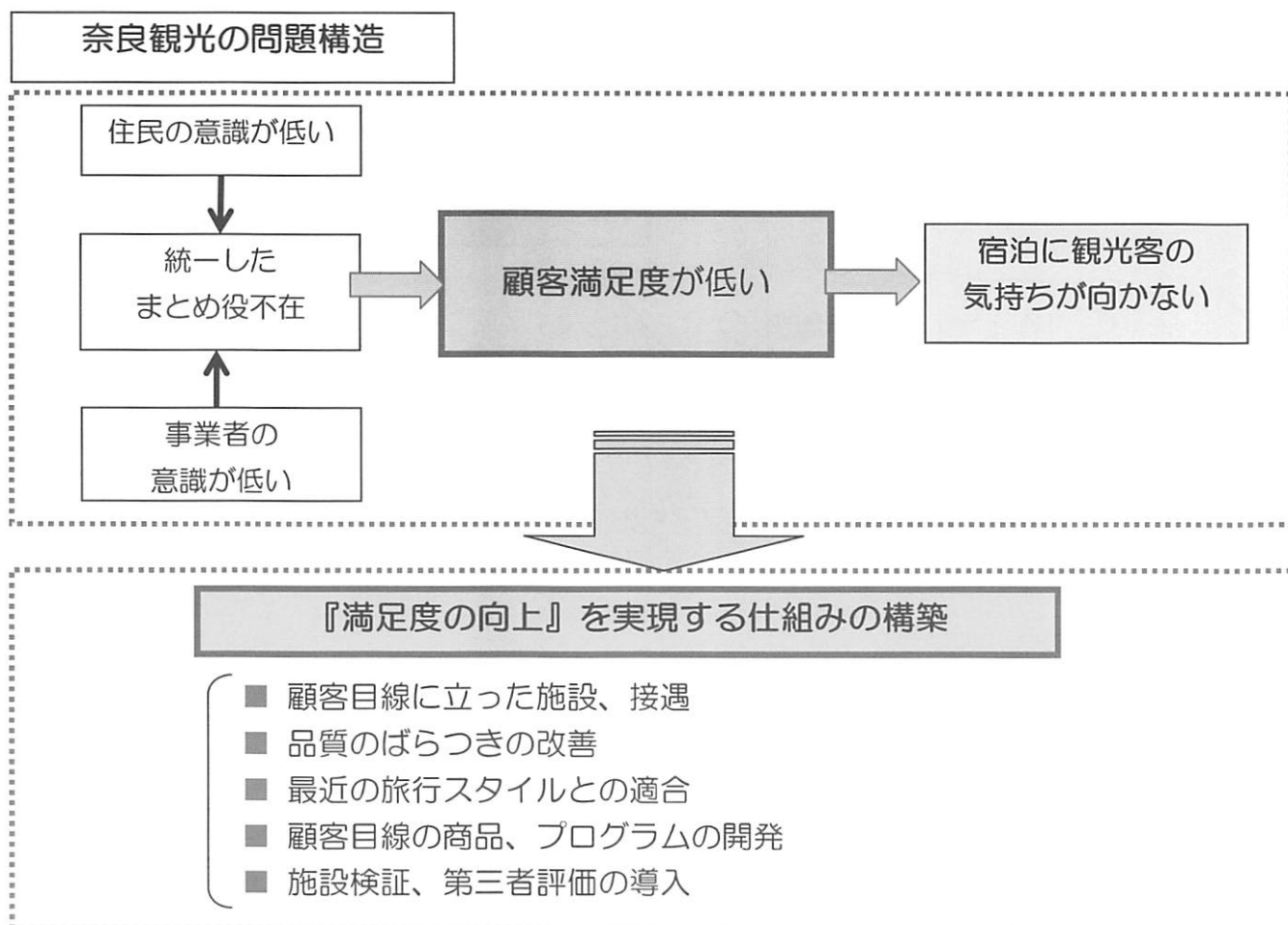
3. 奈良市観光の方向性

歴史リゾート・モデル実現のために具体的な施策を検討するが、以下のような方向性に沿って考えることにする。

- 旅の目的となる
- 非日常を提供する
- 選択肢を提供する
- 奈良がメインとなる
- 日帰り圏内の人でも宿泊を楽しめる

また、現状のホスピタリティでは満足度が低くなっており、宿泊者（長期滞在客）の満足度向上を実現する仕組みづくりも必要であるが、以下のような方向性が検討できる。

- 顧客目線に立った施設、接遇
- 品質のばらつきの改善
- 最近の旅行スタイルとの適合
- 顧客目線の商品、プログラムの開発
- 施設検証、第三者評価の導入



Ⅲ. 奈良市観光振興への実践

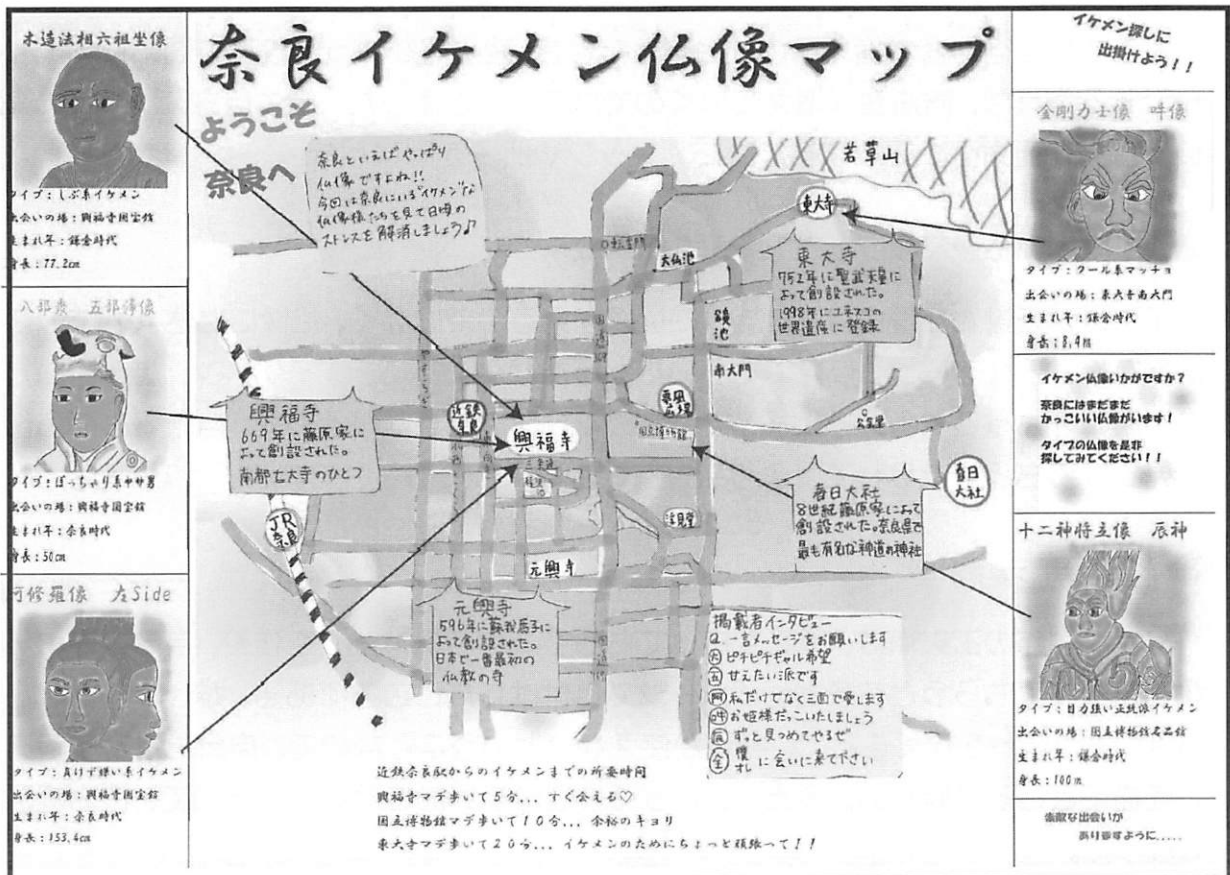
Ⅱ. で整理した方向性のうち、歴史リゾート・モデル実現のために実践活動を行った。具体的には、

1. 奈良県立大学学生による「顧客（に近い）目線」の『観光リーフレット（散策マップ）』作成
2. 宿泊観光プログラムの作成、提言 ～学生、信用金庫スタッフ達「非プロ」の目線から提案する『奈良の過ごし方100のコンテンツ』～
を行った。

1. 観光リーフレット（散策マップ）作成

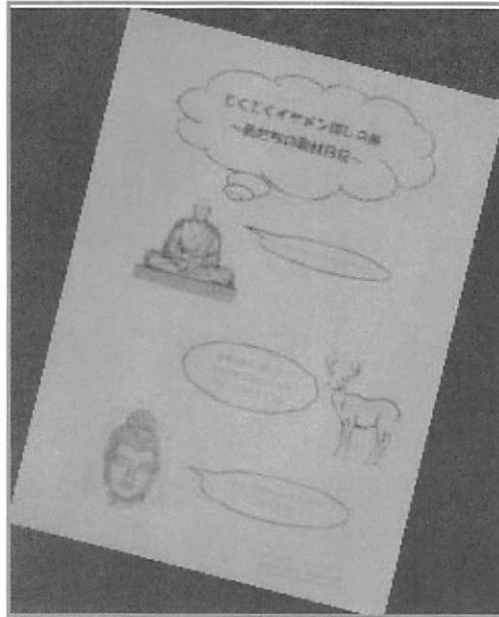
奈良市には、観光マップはたくさんあるが、有名な観光名所だけがクローズアップされていて、こうした環境では観光客のスタンプラリー意識が払拭できない、という想いから奈良県立大学の学生3名が自ら企画し、散策マップ等を作成した。

(1) 奈良イケメン仏像マップ



(2) 冊子

この冊子は、奈良県立大学の学生が奈良市内をぶらぶら歩いて、おもしろいなと思ったもので、上のマップに乗せられなかったものを冊子にしたものである。



(3) 制作した学生の思い

① 経緯

どうすれば宿泊客が増えるのかと考えたとき、観光客がゆったり長時間奈良で楽しんでもらえれば、宿泊客が増えていくのではないかと思った。学生目線で「奈良の楽しみ方」を観光客に提案するために、マップや冊子を制作した。

② 「イケメン仏像マップ」とした理由

イケメンを選んだ理由は、ただ単に仏像を見るのではなく、仏像にもさまざまな表情があり、それをじっくり見てもらいたかったからである。「イケメン」だと若い方にも興味をもってもらえると思った。このマップをきっかけとして、自分好みの仏像を見つけてもらったりして、より奈良を好きになってもらいたいと思っている。

③ 制作の工夫

マップ制作の工夫点は、興味を持ってもらうためにチャートを作り、自分好みの仏像を見つけてもらうところと、イメージで色付けしたところである。難しかったところは、イラストを描くことで、写真が使えないということなので、自分たちでイラストを描くところは難しい。今まで、じっくり仏像を見たことなかったので、良い経験になった。

冊子では 2 ページ目に、市内循環バスの路線を書いた。実際に奈良を散策したとき、次のところに行くまで遠かったと感じたので、フリー乗車券を買ってバスを利用すると楽に回れると思って載せた。

④ 楽しみ方

マップの楽しみ方は、このマップを見て、イケメン仏像に会いに行きたいと思い実際の行動につながることを目指している。ここにある仏像様はほんの一例なので、じっくり仏像の表情をみてほしい。

また冊子の 9 ページには奈良町からくりおもちゃ館でのインタビューを掲載している。宿泊客を増やすにはどうすれば良いのかを話してもらった。ぜひここに立寄って話をしてみてください。

⑤ 今後の取組み

マップ・冊子は、旅館・ホテルなどの宿泊施設や、観光案内所・観光施設に設置し、観光客の方に配布することを考えている。今回は「イケメン」仏像としたが、今後はスイーツマップや、学生目線のグルメマップなど、いろいろなシリーズ化をめざしている。この一回限りではない、継続した活動にしていく予定である。

2. 奈良の過ごし方 100 のコンテンツ

奈良県立大学の学生や奈良信用金庫スタッフ達のプロではない、利用者と近い目線から発案した奈良の過ごし方コンテンツを 100 個作成した。さらにその中から 3 つのオススメプランの詳細を紹介する。

(1) 100 のコンテンツ

奈良市観光に必要なのは、自由な時間の過ごし方の提案だと考えた。さいわい、奈良には住んでいる人ですら分かっていないほど、魅力ある素晴らしいところがたくさんある。そこで、奈良に来た人たちに奈良での時間の過ごし方を提案し、「やりたい事がありすぎて、時間がどんなにあっても足りない」、「次は、こんなところに行きたいから・こんな事をしたいからまた、奈良にきたい」と思ってもらえるようなコンテンツを検討し、提案する。こうしたコンテンツの活用によって、奈良での滞在時間が延び、宿泊客増加につながるはずである。

(図表Ⅲ-1) 100のコンテンツ

各種コンテンツ		内容
朝の奈良		
1	奈良といえば「鹿」でしょ！～鹿よせ体験～	奈良公園をボランティアが伴と一緒に散策後、鹿よせに参加。希望者にはエサまきも！
2	お坊さんになって奈良を体感！	寺社での清掃・読経等 お坊さん体験。こちら側からあちら側へ・・・
3	奈良名物 茶粥を作って朝からほっこり	ホテルで茶粥の調理体験ができる！（該当宿泊施設にお泊りの方以外もOK）
4	十輪院で朝の勤行＆朝カレーを頂く会	十輪院で開催される朝の勤行に参加、その後はお寺でふるまわれる「朝カレー」を堪能
夜の奈良		
5	地元っ子になろう！～ノスタルジーな飲み歩きツアー～	ならまち界隈のちょっとノスタルジーなお店を巡るツアー。お店の紹介（標準価格を含む）マップ付。（知らない街では全国展開している店ではない、地元の店には入りにくいを解消）
6	夜の山を楽しもう！～夜山ウォーキング～	生駒山、春日山等専門ガイドとともに、昼間とは違った奈良を体感（モンベル等と連携）
7	新日本3大夜景&ライブアップツアー（既存商品のパッケージ化）	初日にライブアップされている社寺を含む奈良市内を若草山（展望台）から夜景鑑賞し、その後ライブアップされている社寺を外から鑑賞。翌日は若草山から展望した社寺を内側から鑑賞。
8	夜景にうっとり！若草山（生駒山）夜景鑑賞	ホテルでゆっくり夕食を食べた後、若草山までバスで送迎。昼間とは違う、奈良の町並みを！
9	燈花会体験オプションツアー	夜、燈花会を地元のガイトと体験。穴場スポットやこぼれ話が聞けるかも！
10	ならまち落語オプションツアー	ならまち落語を聞きにいこう。ならの夜を笑いで充たす♪
11	歩いた後はお部屋でリラックス～マッサージ出張サービス～	奈良観光で歩きつかれたら、夜はお宿でゆっくりマッサージをうけて、リフレッシュ！
12	いい湯だな！銭湯で一日の疲れを癒すプラン	提携銭湯入浴券&浴衣貸出。浴衣の方には割引ありの店舗マップ付
13	ホテルでゆったり 女子会プラン	ケータリングサービスのメニュー充実！夜はお部屋でまったりと・・・
14	ちょっぴりひやっと体験付ツアー	①心霊スポットを巡る ②ちょっぴり怖いホラー話を聞く

各種コンテンツ		内容
朝 or 夜		
15	歴史限定～お坊さんと語り合おう～	お寺の若手のお坊さん達と歴史について語らう（早朝又は夕方）
16	早朝又は夜 いつもと違う 世界遺産を巡る	拝観時間外、昼間とは違った景色を楽しもう♪
半日		
17	奈良でオリジナル団扇を作りませんか？	自分だけのマイ団扇を作って、世界に一つのお土産に。
18	瓦を自分で作っちゃおう！～ミニ鬼瓦造り体験～	陶瓦道にてミニ鬼瓦を制作。思い出の奈良土産を作ろう。
19	お抹茶でまったり&茶筌製作体験	奈良市内のお寺でお抹茶を堪能したあとは、生駒市高山町でマイ茶筌造り
20	吹きガラスに挑戦！	奈良ガラス工房（出屋敷）にて吹きガラス体験。世界にひとつのオリジナルガラスを作ろう
21	ロウケツ染め体験	目の前は若草山、興福寺五重塔が望める「ならまち染め工房」で、世界で一つの染布作り
22	遊 中川本店 「麻の手紡ぎ」体験	遊 中川本店で「麻の手紡ぎ」体験&併設茶房でランチが出来るプラン。
23	筆を作ろう！～世界で一つのMY筆を作ろう！～	奈良の筆作りの歴史は1200年程前。いいお道具で美しい字を書こう。
24	お寺で自分と向き合おう☆心を清める旅（お寺で色々体験）	①心を清める。禊の旅～座禅・写経・講和・読経等で、お寺で心を清め、心を解き放とう～ ②お寺で様々な文化体験が出来るプラン（座禅、写経、茶道、書道etc・・・）
25	職員が伴付。元興寺で文化財にふれる旅	元興寺&文化財研究所を職員のガイド付で拝観。より深く奈良を知っていただく
26	常設展が面白い！奈良博職員による講義&ガイド付	奈良の歴史・奈良博の常設展の説明を聞き、ガイドブックだけではわからない奈良を知ろう
27	自分磨き ☆ 風呂敷包み方教室	奈良町の町家で風呂敷の包み方をお勉強。お勉強後は町家で楽しくランチタイム
28	自分磨き ☆ 能レッスン	①好きな時間帯にお能体験。体験者には、浴衣&着付けプレゼント。 ②デッサン鑑賞～世界無形文化遺産第一号に選ばれた世界に誇る日本の古典芸能を鑑賞できるチケット付～

各種コンテンツ		内容
半日		
29	語り継がれている奈良市の昔話に耳を傾ける・・・	音声館で奈良にまつわる昔話をきこう
30	柿ケーキを作る料理教室	散策の後はスイーツでほっこり。柿ケーキを作って、みんなで楽しくティータイム。
31	清酒発祥の地！見て・飲んで楽しむ奈良	春鹿、今西鋪清兵衛でお酒造りの見学、見学後は飲み比べを楽しむ
32	味覚で楽しむ奈良！名物柿の葉寿司作り	奈良の名産 柿の葉寿司作りを体験！プロの味と食べ比べ
33	赤膚焼の湯呑み作り体験	オリジナル湯呑み作りを体験 → 作品は完成後ご自宅へ発送。
34	奈良名物！素麺作り体験付	三輪素麺の工場見学と素麺作りプチ体験付プラン。工場までの送迎付
35	奈良の名物鍋を堪能しよう♪（飛鳥鍋、柳生鍋etc・・・）	戦国末期から江戸時代にかけての兵法者、また新陰流の剣豪として、有名な柳生石舟斎、柳生十兵衛ら一門の豪傑を育んだ大和柳生の庄に古くから伝わった柳生鍋等を味わう。
36	おしゃかわいい奈良のお土産を探そう！	女子大生がお勧めする、おしゃかわいい奈良のお土産マップを配布。
37	あの人に会いたい！名物店主を巡る旅	TV・雑誌等で紹介された名物な人がいるお店等へブラリ。もしかしたらサインがもらえるかも
38	奈良から世界の子ども達へ	元興寺で写経。世界の平和を祈り、収益金の一部をユニセフに寄付。
39	せっかくの旅だもの♪人力車で巡るならまち	① 人力車でホテルまでの送迎、散策サービス
		② 追加オプションで着物でのお出かけも可
40	平安衣装で気分は平安美人♪	平城田跡で平安衣装の貸出&30分お散歩&写真撮影付プラン
41	猫好きさん集まれ！ファンミーティングツアー	ネコグッズを扱うお店のマップを無料配布。ネコカフェでは、割引特典も
42	歩いては行けないおすすめのお店へ送迎プラン	行きたいけど、どうやっていけばいいのかわからないか・・・。お勧めのレストランへの予約&送迎付。
43	学生マップ体感ツアー	学生マップにもとづき、学生ボランティアが奈良の街をご案内
44	奈良クイズに答えよう！当たればお得な得点付	マップ掲載のカフェ・レストラン等でクイズを出題。正解者にはお得な割引もしくはプレゼント

各種コンテンツ		内容
半日		
45	明治の奈良をめぐる「きたまち」ツアー	昔(明治時代)と今のきたまちマップを配布。
1日		
46	おいしい奈良♪奈良野菜直売所めぐりプラン	奈良野菜の人気直売所をバスで巡るプラン
47	ならまちを探索しながら英語を学ぼう	外国人ガイドと一緒に、奈良町をブラブラ。英会話で奈良の歴史を学ぼうツアー
48	LOVEスイーツ♪ツアー	奈良町にあるスイーツ店地図を配布。提携の店ではプチサービス！
49	お蕎麦大好き！奈良町そば巡りプラン	奈良町にある蕎麦屋の地図配布。ツアーの人には特別、少量で割安のメニューを提供
50	B級グルメ 奈良食い倒れプラン	B級グルメにミネットされた店舗をマップにして配布。マップ提示で割引あり
51	奈良をめぐる自分だけのマップを作ろう！	ポイントのみ記載された白地図を配布。巡った場所には思い出の写真を組み入れ後日郵送。
52	室町の絵本「奈良絵本」☆奈良で絵本を作ろう！	奈良を自分たちで巡る → その後、自分だけの絵本を作る。
53	歴史文化体験ツアー	歴史文化体験(大茶盛、写経等)、自然環境学習(鹿寄せ)
54	奈良を再発見しよう！	猿沢池、采女祭等ボランティアが「にご当地にまつわる話を聞きながら、知られざる奈良に触れ合うプラン
55	万葉集を巡る旅	万葉集に詠まれた歌の背景となった地のマップ付。スタンプラリー完成で、プチプレゼント進呈。
56	古事記のストーリーに入り込もう！～古事記を巡る～	古事記にまつわる地を巡る旅。
57	春日原生林、春日大社を歩く	春日原生林、春日大社を歩く
58	柳生街道(滝阪の道)を歩く	柳生街道(滝阪の道)を歩く
59	歩きたくなる道を巡る旅	「美しい日本の歩きたくなるみち500選」のうち奈良にある11コースのマップを配布
60	奈良の山をテクテクしよう	① 山ガール歓迎 ～ 春日の原始林を楽しむお勧めコースマップ配布 ～
		② さわやかハイキング～ 若草山の奥山にガイド付でハイキング。参加者には手ぬぐいプレゼント ～

各種コンテンツ	内容
1日	
61 人物がわかると歴史が面白い！人を巡る旅	奈良ゆかりの人物の人物紹介パンフレット(県HP)付。ゆかりの地マップ配布。
62 恋を叶えたい女子必見！恋が叶う？～恋愛成就の旅～	恋が成就するかも?! ～ 奈良町、恋のパワースポットめぐり(采女神社/御霊神社)～
63 チャールズ皇太子が巡った奈良を巡る旅(2008年10月)	2008年にチャールズ皇太子が巡った地をこぼれ話と一緒にマップにして配布。
64 TVドラマの舞台でヒロイン気分♪	TVや映画の舞台になった地・食べ物を紹介。ヒロイン気分を味わおう！
65 奈良町の鬼をめぐるツアー	民話や瓦、奈良町にある「鬼」にまつわるツアー
66 南都七大寺を巡る	ボランティアガイドと一緒に南都七大寺を巡る
67 大仏鉄道をめぐる	大仏鉄道をめぐるツアー
68 観光名所スタンプラリー	寺社仏閣、観光地などにスタンプを置き、全て集めて素敵な景品をゲットする企画。上・中・初級をつくり、何度も観光したことある人でも楽しめる。昼、夜バージョン(夜は浴衣の貸し出し)
69 奈良の歴史ミステリーツアー～謎をといてプレゼントを貰おう～	① 奈良の歴史に関するクイズを出題→その場所の写メで撮影→全問正解者にはプレゼントも ② 名探偵コナンのなかんじでの奈良に関しての推理クイズ
70 写真の寺を探せ!!	あらかじめ、寺の画像を示して、寺を撮影した写真をフロントで見せるとプレゼントが割引。(撮影の可否の確認は必要)
71 まほろば眺望スポット百選スタンプラリー	百選のうち奈良市内にある16選をスタンプラリーで巡る。個数にあわせてプレゼント
72 浴衣(着物)で奈良散歩!	選べる浴衣(着物)で奈良町散歩プラン
73 自分たちの健康を祈るツアー	健康にまつわるスポットマップを配布。元気になってお家へ帰ろう。
74 ストレス解消！パワースポット巡り	パワースポットを巡って、日頃のストレスから開放されよう。
75 奈良町大正浪漫	大正ロマンを感じる物、カフェ、建物を巡るプラン
76 せんと君捜索！スタンプラリー	マップ掲載地域内に潜むせんと君を探そう！全部見つけられたらプチプレゼント！
77 イケメン?!お坊さんに会いに行こう～寺を回る～	イケメンのお坊さんマップを配布。

各種コンテンツ	内容
1日	
78 お気に入りの地蔵を見つけよう！～奈良市の地蔵巡り～	奈良市にあるお地蔵さんをマップに。
79 地球に優しく☆エコプラン	自転車で奈良をエコに観光！マイ箸持参で地球に優しく(吉野杉のお箸プレゼント)
80 ガイドと回る寺社仏閣巡り	いつもと違う角度から仏像をみると、見えなかった何かを発見できるかも!?
宿泊	
81 奈良県立大学 歴史講座付宿泊プラン	奈良県立大学の公開講座無料参加券付宿泊プラン
82 好きな食材でカレー作り体験付プラン	奈良は古代米を使ったカレーが有名。好きな奈良野菜を使ってカレー作り教室付プラン
83 昔はみんなそうだった！昔体験付宿泊プラン	農家民宿で懐かしい昔の暮らしを体験。
84 草履づくり体験付宿泊プラン	農家民宿で草履作り。
85 奈良漬メニューでおもてなしプラン	夕食に奈良漬堪能コースをご用意。奈良を味覚で楽しもう
86 観光タクシー付宿泊パック	高齢者をターゲットに観光タクシーをセットにした宿泊パック
87 思い出の奈良。。同窓会宿泊プラン	同窓会旅行でご利用いただくお客さまには夕食時乾杯のドリンク1杯プレゼント
88 リピーターありがとうプラン	お宿を以前にご利用して頂いた方には感謝の気持ちをこめて5%OFF。
89 絆をつなごう！婚カツプラン	宿泊客の希望者向け 合コンをセッティング！居酒屋で割引特典付
90 パパ&ママありがとう！プラン	両親へ感謝をこめて、提携レストラン(予約時チョイス)で二人の特別でディナー&送迎付
91 大切なあの人へ～特別お祝いプラン～	① Happy Birthdayプラン～お誕生日に宿泊される方は30%OFF～ ② 誕生日や記念日に、ケーキ・和菓子・地酒などのプレゼントをご用意。
92 大人の一人旅プラン	一人旅でも割引増し料金なし。お一人様応援プラン。
93 「いいね！」でお得、みんなに広めよう奈良の輪☆	ツイッターorフェイスブックに旅の写真をアップ、いいね～をクリックしたら、旅館安くなる。

各種コンテンツ		内容
宿泊		
94	手ぶらでお泊り！女子必見メイク道具貸出パック	資生堂等のメイクアップ道具一式を自由に使えるパウダールームを自由に利用可能
95	and奈良の旅	1日目京都や大阪で観光→夜は奈良で宿泊。次の日はゆったり奈良を満喫(レイトチェックアウト)
96	蛸鑑賞ツアー付宿泊プラン	農家民宿で、夜は蛸を見に行こう！
97	わがまま奈良旅！リクエストツアー	事前にチェックシートに記入(まち歩き、仏像巡り)。ボランティアが体をホテルで事前予約。
98	伝統工芸体験付宿泊プラン	にぎり墨、赤膚焼等お好みの伝統工芸をセットに出来るプラン
その他		
99	レンタカーでお得に楽々旅プラン	提携のお寺・博物館の有料駐車場の割引券&ロードマップをプレゼント
100	思い出を残そう！あなたの奈良アルバム作ります	奈良で撮った思い出の写真を素敵なアルバムにします！

(2) オススメプラン

(1) の 100 のコンテンツの中から、奈良県立大学学生と奈良信用金庫職員がお奨めするプランを紹介する。

① 学生

「奈良ウィン♪ ～新しい魅力発見!?心霊スポット巡りツアー～」(プラン 14)

〔概要〕

- ・ アメリカのお祭り「ハロウィン」風⇒から奈良ウィン！と命名
- ・ みんなでワイワイ楽しめる要素+日本人の好きな肝試しのスリル要素を組み入れた心霊スポット巡り。

※ 大人も子どもも楽しめる。友達同士、カップル、家族連れ・・・、ターゲットを絞らず、幅広い人達を対象にする。

※ 普段はコスプレに抵抗があるかもしれないが、「旅の恥はかき捨て！」 非日常を楽しんでもらいたい。

※ 一味違った歴史スポットの楽しみ方を提案

モデルプラン

<1日目>

15:00 チェックイン

17:00 夕食

18:30 ロビー集合 車で若草山に移動

18:45 若草山到着 少し夜景を楽しんでからドキドキツアースタート

20:00 怪談会

20:30 プチお菓子パーティー



<2日目>

11:00 ブランチ

13:00 チェックアウト 前日に巡ったスポットを人力車で巡る

15:00 お祓い

② 信用金庫

「心を清める～奈良のお寺で座禅体験～」(プラン24)

〔概要〕

- ・ 1日目<昼> 宿泊プランご予約の方限定! 学芸員の説明付寺内拝観(2日目午後でも可)
- ・ 2日目<朝> 早朝のお寺で座禅体験 ⇒座禅後はご住職の講話&和菓子付(奈良の銘菓)

※ 通常は拝観出来ない時間帯に、座禅体験する特別感

※ 住職の講話、座禅、静けさの中で自分と向き合う時間の提供

※ 学芸員(ご住職)の説明付で魅力を存分に味わう。

③ 学生+信用金庫

「奈良県立大学歴史講座付宿泊プラン～古都奈良に“いにしえ”留学～」

(プラン81)

〔概要〕

- ・ 長期滞在で「座学」と「フィールドワーク」を組み合わせ、奈良を“じっくり・ゆっくり”味わってもらう。

<午前>: 奈良県立大学で奈良にまつわる講座を受講

<午後>: 教授と共に受講内容にちなんだ場所を訪ねる

※ 宿泊施設は選択制(基本ホテル+追加料金)

※ 月曜～金曜までは授業あり、土曜・日曜は完全フリー(土日を講座の前にするか、後にするかは自由)

(3) 奈良の過ごし方コンテンツ100選プレゼン会の実施

奈良の過ごし方コンテンツ100選について、宿泊施設・観光関連事業者に向けてプレゼン会を実施し、奈良観光プロジェクトに賛同し、100選の中からならまちの活性化に向けたプランの実施に向け連携してもらえる企業者を募集。新しい奈良観光「歴史リゾート」の構築達成のためには、奈良市、奈良市観光協会、奈良県立大学、宿泊施設、寺社仏閣、飲食店、居住者等の全ての協力が必要不可欠であり、その繋ぎの役割をプロジェクトが担うことで、円滑で持続的な活動を目指す。

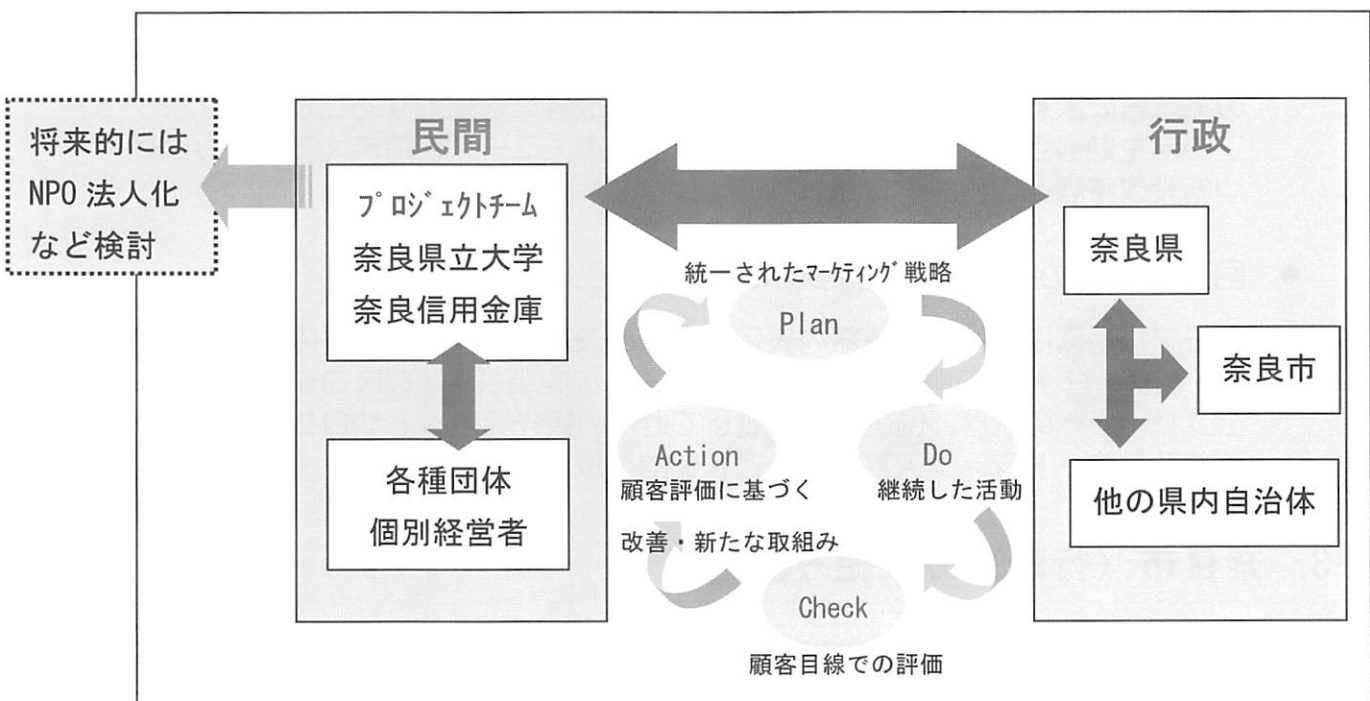
IV. 今後の取組み

1. 本プロジェクトで検討した方向性の実現アプローチ

Ⅱ章 3.奈良市観光の方向性で示した通り、宿泊者を増やしていくためには

- 顧客目線に立った施設、接遇
- 品質のばらつきの改善
- 最近の旅行スタイルとの適合
- 顧客目線の商品、プログラムの開発
- 施設検証、第三者評価の導入

以上の点を踏まえた、『顧客満足度の向上』を実現する仕組みの構築が必要である。この仕組み構築のためには、まず民間と行政がそれぞれの立場で実現に向けて取り組まなければならないが、相互に情報交換し、密に連携をとることが重要である。



上記取組み推進にあたっては、奈良市内にモデル地区を選定し、地区関係者（地域に縁のある民間企業・商工業者、観光関連団体や商工業者団体、観光施設関係者、寺社関係者、地域住民の団体 等）が連携できる体制を作ることが望ましい。行政には地区関係者が主体的に進める取組みに対しての支援が期待される。

なお、奈良市内におけるモデル地区としては「ならまち地区（元興寺周辺、高畑地域、京終駅近隣地域までを含めたものとして想定）」「きたまち地区（近鉄奈良駅北側、奈良女子大学近辺を想定）」を想定している。

2. モデル地区における活動内容案

1. に示したモデル地区では、地区関係者及びその支援を行うプロジェクトチームによって以下のような具体的活動が行われることを想定している。当初は試験的な活動との位置づけになるが、観光客の好反応が得られた場合は中長期的に継続できるよう努める。

- 滞在コンテンツアイデアの実現

「奈良の過ごし方 100 のコンテンツ」をはじめとする各種アイデアを具体的な商品やサービスとして提供する。外来の観光客への提供が最終的な目標であるが、商品・サービスの内容を地域住民に理解してもらうために、地域住民に対する試験的提供も行う。

- 商店、宿泊施設等のサービス品質平準化

奈良における「おもてなし」のレベルアップを図るため、観光客や専門家等の第三者による評価情報を関係者で共有して改善策を検討することや、スタッフの自主勉強会の実施などを行う。観光客の声・ニーズを踏まえた街並み整備や施設改善などの検討も行う。

- 回遊性を高めるための案内表示、情報発信ツールの強化

モデル地区における各種案内表示の一層の改善、外国人向け案内ツールの作成・設置、IT 技術を駆使した情報発信ツールの実装（例：QR コードによるウェブサイトへの誘導、現在地を認識して近隣の観光スポットや口コミ情報を表示するスマートフォンアプリ）など先端的な取組みを行う。

3. 奈良市（行政）の取組み課題案

今後、奈良市にはモデル地区を中心とした民間の取組みがより効果を上げるような基盤整備への取組みが期待される。

具体的には、以下のような取組みが挙げられる。

① モデル地区の滞在型観光インフラ整備

- 景観整備

現行の奈良市景観計画をベースにしつつ、公共物のデザイン性向上や電柱地中化等の景観整備事業の重点的推進、現景観基準の運用状況の検証と改善 等

- 交通整備

地区内の自動車通行規制や駐車場・駐輪場配置の重点的見直し 等

- ソフト整備

小規模イベントなどの企画・実施ルールの簡素化、外国語表示や外国語パンフレットの整備・設置、美化清掃の見直し 等

② 積極的な民間事業者に対する支援

- 設備投資支援

観光客の満足度向上に資する設備投資を行った事業者に対する補助金交付や税制 優遇措置 等

- 事業支援

地区内における新規参入事業者に対する時限的優遇措置、中小企業者の事業承継優遇措置、斬新な事業アイデアに対する支援、街並み保全に対する民間事業への支援、若手経営者支援イベント 等

③ 観光情報発信のスピードアップ、PR 活動の促進

- 情報発信の一元化

多数の行政や民間で散逸している観光情報の一元的整理、情報発信主体の整理統合 等

- IT 等の活用

地区内における IT を用いた新たな情報発信事業に対する支援 等

- 統一的なマーケティング戦略に基づく PR 活動

ターゲット別（シニア、若者、外国人、地域住民/地域青少年）の観光マーケティング戦略の再構築、ターゲット別の PR 実践 等

以上のような課題のうちいくつかは、これまで「奈良市もてなしのまちづくり推進行動計画」等で挙げられたこともあるが、十二分に解決・実行されているとは言い難い面もあり、改めての重点的推進が期待されるところである。

4. ならまち整備による経済波及効果

<前提条件>

- ならまちに対して、1,000 百万円投下して街並み整備を行い、10 百万円かけてイベントを実施したとする前提
- そのイベントに 100 万人（宿泊 10 万人、日帰り 90 万人）来街されたときの経済効果を試算

<効果>

- 結果、総投資額 1,010 百万円に対して、波及効果は 6,296 百万円発生
- 個人所得は 1,804 百万円向上し、法人収益は 716 百万円アップ
- 結果、奈良市は個人分として 45.1 百万円、法人分として 89.5 百万円、合計年間 134.6 百万円の税収増

① 整備にかかる初期投資（単位：百万円）

施設整備費	1,000
備品購入費	10

② 整備による消費効果

	宿泊	100,000 人	日帰り	900,000 人	合 計
	単価	消費額(百万円)	単価	消費額(百万円)	
宿泊費	10,000	1,000	0	0	1,000
交通費	1,000	100	500	450	550
飲食費	5,000	500	1,500	1,350	1,850
土産購入費	3,000	300	1,000	900	1,200
入場料他	2,000	200	1,000	900	1,100
合 計	21,000	2,100	4,000	3,600	5,700

③ 経済波及効果

(単位：百万円)

	直接効果(1)	第1次波及効果(2)	第2次波及効果(3)	総合効果	倍率
生産誘発額	4,205	1,146	945	6,296	1.50
粗付加価値誘発額	2,191	617	641	3,449	1.57
雇用者所得誘発額	1,259	312	233	1,804	1.43
営業余剰誘発額	402	119	195	716	1.78

雇用誘発数(人)	651
----------	-----

④ 市への税収効果

(単位：百万円)

	試算税率	対象額	税収額
個人市民税	2.5%	1,804	45.1
法人市民税	12.5%	716	89.5
合計			134.6

5. まとめ

奈良市観光プログラムを実施する上で、今一度「奈良に来られるお客さまは、奈良に何を求めているのか」という原点に立ち返りたい。「奈良にうまいものなし」「繁華街（夜）がない」「温泉がない」等、他府県と比較してネガティブな点ばかりが取り上げられるが、果たしてお客さまは奈良にそんなことを求めているのだろうか。もとより、温泉に入りたければ、温泉で有名な観光地に行くし、食を楽しみにするのであれば、食べたい物がある観光地に行くだろう。では、奈良に来られるお客さまは何を求めているのだろうか・・・

「奈良はかわらないでいてほしい」といった声が、アンケートや著名人の方から多く聞かれたが、ここに、先ほどの答えがあると考え。奈良には歴史遺産が数多くあり、悠久の歴史とともにゆっくりした県民性が醸し出す「奈良時間」がある。まさに、日本のふるさとと言うべき風景が時間の流れと共に奈良には存在するのだ。ふるさとに帰ってきたような、あたたかな気持ちでゆっくり過ごせる「歴史リゾート」が奈良にはある。ないものねだりや、他府県と類似のプログラムを実施するのではなく、奈良でしか味わえない「歴史リゾート」をテーマとしたプログラムの始動が奈良観光には必要と考える。

奈良市観光振興の問題点

- ・ お客さま(観光客)と事業者(もてなす側)との意識のギャップ ⇒ 一般的な観光地が実施している施策を取り入れようとしていて、「奈良観光」にお客さまが求めていることが把握されていない
- ・ 統一されたテーマがない ⇒ 奈良をプロモーションする上で一貫したテーマがないので、PRしきれていない
- ・ まとめ役不在 ⇒ 個々に小さな活動は実施されているものの、取り纏め役がないため広がりがいい



顧客満足度が低い

奈良市への提案

- ・ お客さま(観光客)と事業者(もてなす側)との意識のギャップを埋める ⇒ そのためには、徹底的にお客さま目線に立ったマーケティングが必要(外部団体による)
- ・ 奈良市観光振興プロジェクト主導による、モデル地区(ならまち周辺)内で一貫したテーマを基にした活動を展開していく ⇒ プロジェクトが主軸となり、活動の輪を広げていくことで、地区内を一つに纏める
- ・ 活動を検証するシステムの構築 ⇒ PDCAを循環させ、プロモーションの方向性に間違いは無いか(お客さまが求めていることに齟齬がないか)を検証し、修正しながらプログラムを実施していく
- ・ 奈良でしか味わえない着地型観光「歴史リゾート」の提唱
- ・ 民間プロジェクトに対する側面支援を期待

奈良市観光振興プロジェクト「奈良の観光を考える」報告書 概要

I. 奈良市観光の現状

①主要駅での聞き取り調査 (N=3,623)

日帰り客が多い(77%)

訪問は2カ所以下(79%)

出所: H23奈良市観光戦略基礎調査

②宿泊施設へのアンケート (N=22)

リピーター3割未満(75%)

出所: H24宿泊施設実態調査(PJ実施)

③宿泊者へのアンケート (N=125)

寺社以外の目的は少ない
・街歩き(40%未満)
・宿泊施設自体(20%未満)

施設決定理由は立地、ツアー指定、価格が殆ど

出所: H24宿泊者実態調査(PJ実施)

II. 奈良市観光の方向性

従来の「スタンプラリー・モデル」

顧客(観光客)が長期滞在する際の接点の満足度が低い
⇒有名寺社で写真を撮ったらすぐに帰ってしまう

背景に観光客とてなす側の意識のギャップ(顧客目線の欠如)

「歴史リゾート・モデル」へ転換

- 旅の目的となる
- 日常から離れた時間を提供する
- アクティブにものんびりでも過ごせる
- 奈良が他エリアへの拠点
- 日帰り圏内の人でも宿泊を楽しめる

◎満足度の向上がキー

- 施設、接客改善
- 品質ばらつき改善
- 最近の旅行スタイルに適合
- 商品・プログラム開発
- 第三者評価、検証

III. 奈良市観光振興の実践

①奈良県立大学生による観光マップ制作



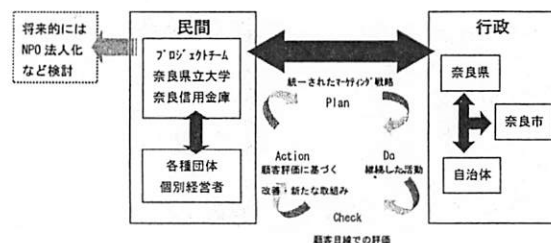
- ・ 滞在を長くするため、「仏像巡り」をテーマにした
- ・ 「自分たちが関心を持てる内容」にこだわった
- ・ 宿泊施設、観光施設、案内所等での配布を予定
- ・ 今後新たなテーマも検討

②「奈良の過ごし方100のコンテンツ」の作成

番号	名称	概要
1	春日大社	春日大社の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
2	東大寺	東大寺の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
3	法興寺	法興寺の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
4	大仏	大仏の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
5	春日大社	春日大社の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
6	東大寺	東大寺の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
7	法興寺	法興寺の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
8	大仏	大仏の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
9	春日大社	春日大社の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。
10	東大寺	東大寺の歴史や文化、お祭りの様子について紹介するコンテンツ。

- ・ 宿泊や体験、食事等のコンテンツをリスト化
- ・ プロジェクト関係者が敢えて「非プロ目線」で発案
- ・ 朝晩限定など、宿泊して楽しむ内容を盛り込んだ
- ・ 宿泊施設関係者からの要望もあったもの

IV. 今後の取組み



- ・ モデル地区(ならまち等)を設定し、民間プロジェクト形式で活動予定
✓ 過ごし方コンテンツの実現、おもてなし品質向上、情報発信など
- ・ 行政と連携を深め、モデル地区に対する支援を期待
✓ インフラ(景観、交通、ソフト)整備、事業者支援、情報発信支援

経済効果の実現

参考: 経済波及効果試算
(ならまち地区を整備した場合)

総投資額	波及効果	税収効果	
1,010	6,296	134.6	(百万円)

おわりに ～ 今までを振り返って ～

奈良信用金庫は、2011年10月に地域産業の活性化を目的に奈良県立大学との間で連携協定を結びました。同年12月、2013年3月、同年8月に、観光をテーマとした『なら観光シンポジウム』を開催し、基調講演とパネルディスカッションを行い、奈良の観光に対する貴重な意見・提言をいただきました。奈良の観光には取り組むべき課題が多く、頂いた貴重な意見や提言を参考に、観光振興をより具体化させるべく、2012年9月に地域の主体である行政、信用金庫の中央機関である信金中央金庫、奈良県立大学と連携し「奈良市観光振興ワーキングチーム」を立ち上げました。

奈良で生まれ育ち、奈良の地域金融機関に勤める者として、地元のために貢献できれば……。特に、これから奈良を盛り立ててくれる若者、そして生まれ来る子どもたちの将来のために、奈良活性化のお役に立てればという思いでメンバーとして参加させていただくことになりました。大学時代に歴史を勉強していたこともあり、休日には寺社・仏閣や遺跡、地元散策に出かけるのですが、教科書に載っているような観光名所には人があふれかえっているのに、少し道を入ると急に物寂しい風景になってしまうことが気になっていました。奈良で育った私が観光しても、何度も会いに行きたくなる仏様や、ほっこりする町並み、路地裏のかわいらしいお店等、誰かに紹介したいスポットがたくさんあって飽きがこないのに、どうして観光客が増えないのか疑問でした。その答えはワーキングの中で明らかになりました。有名な観光名所だけが「奈良」のイメージを大きく印象付け、それ以外の選択肢を観光地として周知できておらず、観光客に提供できていないという事実です。

そこで、奈良の観光を有名な観光名所を巡って写真を撮るだけの「スタンプラリー」のような観光から、新たに「歴史リゾート・モデル」と称したプロジェクトに転換することを第4回なら観光シンポジウムで、プロジェクトの中間報告として発表しました。中間報告では、様々な貴重な意見を頂き、具体策を検討していく段階となり、第5回なら観光シンポジウムではプロジェクトの具体的な取り組みとして、奈良県立大学の学生によるイケメン仏像に焦点をあてた観光マップ「イケメンマップ」やワーキングメンバーで考案した「奈良の過ごし方100選」を発表しました。奈良は、かつては修学旅行客で賑わい、数箇所の観光名所があまりにクローズアップされすぎ、それ故に、有名所以外は観光地にカウントされていない事実があります。有名な観光名所はメインになりすぎて、メイン以外の過ごし方が分からないから観光客の滞在時間が短くなってしまい宿泊まで至らないと感じた私たちは、「知る人ぞ知る奈良」やお客さま目線にたって考えた「奈良でこんなことやってみたい!」「こんな宿泊プランがあったらいいな!」を冊子にしました。後日、シンポジウムに来てくださっていたお客さまからお電話を頂戴し、冊子に掲載した内容で協力できる事があれば言ってくださいというお声を頂き、私たちが投じた小さな一石から輪が広がっていることを

実感し、嬉しく思うと同時に、責任の重さを感じました。また、多方面から、プロジェクトと協同してくださるというお声を頂き、今からが本当のスタートだと気が引き締まる思いです。

多方面で奈良を盛り立てて下さっている方々の輪を一つに、橋渡し役として連携をとりながら、一つずつ具体的な施策を実行していきたいと思えます。

この報告書をまとめるにあたり、奈良市役所、奈良市観光協会、奈良県立大学をはじめ、各種アンケート・ヒアリングにご回答いただいた宿泊施設・観光関係の皆さまなど、多くの皆さまにご協力いただき、感謝の念にたえません。誠にありがとうございました。

プロジェクトはこれからが本番です。奈良市観光振興プロジェクトは、行政、奈良県立大学、宿泊施設、観光関連、地域の皆さまのご協力なしではとうてい成し遂げられるものではございません。引き続き、ご支援とご協力頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年1月
奈良市観光振興ワーキングチーム

付属資料

1. 宿泊施設向けアンケート（奈良市宿泊施設実態調査）
2. 宿泊者向けアンケート（奈良市宿泊客実態調査）
3. 信金旅行者向けアンケート（奈良市観光アンケートのお願い）
4. 「奈良市観光振興プロジェクト」の活動経緯
5. 観光シンポジウムの案内（第1回～第5回他）
6. 調査担当スタッフ

②調査結果

	合計	割合
1.規模		
客室数	70.4	
定員	131.9	
従業員	36.3	
2.5年前との宿泊客数比較		
①10%以上増加	1	5.9%
②5~10%程度増加	1	5.9%
③変わらない	2	11.8%
④5~10%程度減少	6	35.3%
⑤10%以上減少	7	41.2%
3.近年の稼働率は		
①30%台	2	11.8%
②40%台	6	35.3%
③50%台	2	11.8%
④60%台	2	11.8%
⑤70%台	4	23.5%
⑥80%台	0	0.0%
⑦90%以上	1	5.9%
4.お客様の主な宿泊目的は		
①当館への宿泊	11	50.0%
②寺社・仏閣	20	90.9%
③祭り・イベント	10	45.5%
④自然	2	9.1%
⑤奈良市の観光	20	90.9%
⑥奈良市以外の観光	8	36.4%
⑦スポーツ	3	13.6%
⑧グルメ	1	4.5%
⑨保養	0	0.0%
⑩ビジネス	8	36.4%
⑪その他	1	4.5%
5.多い客層は		
①中高年夫婦	16	72.7%
②若年カップル	4	18.2%
③子供連れ世帯	3	13.6%
④親・兄弟・親戚連れ	2	9.1%
⑤若年男性グループ	1	4.5%
⑥若年女性グループ	1	4.5%
⑦中高年男性グループ	4	18.2%
⑧中高年女性グループ	11	50.0%
⑨男女混成グループ	3	13.6%
⑩その他	6	27.3%

	合計	割合
6.お客様のリピーター率		
①10%未満	8	40.0%
②10~30%未満	7	35.0%
③30~50%未満	3	15.0%
④50~70%未満	1	5.0%
⑤70%以上	1	5.0%
7.お客様が多い住所地は		
①関東	18	81.8%
②関西	1	4.5%
③東北	0	0.0%
④四国	0	0.0%
⑤九州	0	0.0%
⑥海外	3	13.6%
⑦その他	0	0.0%
8.お客様からの評価ポイント		
①施設・部屋	10	45.5%
②食事	3	13.6%
③イベント	0	0.0%
④接客・おもてなし	15	68.2%
⑤いやし	2	9.1%
⑥環境	8	36.4%
⑦風景・景観	1	4.5%
⑧価格	5	22.7%
⑨その他	2	9.1%
9.お客様の滞在日数の割合は		
①1泊	131	73%
②2泊	34	19%
③3泊	6.75	4%
④4泊以上	7.25	4%
10.最も多い予約ルートは		
①旅行代理店	6	26.1%
②直接電話にて	5	21.7%
③自社ホームページ	5	21.7%
④他社Webサイト	7	30.4%
⑤観光協会からの紹介	0	0.0%
⑥その他	0	0.0%

2. 宿泊者向けアンケート（奈良市宿泊客実態調査）

①調査票

お客様へ	アンケートご記入のお願い
<p>このたびは、当館をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 当館では今後も一層のサービス向上を目指し、より快適な旅館にするために、 皆様からのご意見を頂戴できれば幸いです。</p>	
【問1】奈良に宿泊に来た目的は？（複数回答可）	
①当館への宿泊 ②寺社・仏閣 ③祭り・イベント ④自然 ⑤ミュージアム ⑥奈良市の街歩き ⑦奈良市以外の観光 ⑧スポーツ ⑨グルメ ⑩保養 ⑪ビジネス ⑫その他（ ）	
★具体的に、どういう所に行かれましたか？	
【問2】当館を何でお知りになりましたか？（1つだけに○）	
①旅行代理店 ②旅行情報誌・ガイドブック ③テレビ・ラジオ等の番組 ④パンフレット・チラシ ⑤インターネット（楽天等） ⑥当館のホームページ ⑧観光案内所 ⑧友人や知人の紹介 ⑨以前に宿泊した ⑩その他（ ）	
【問3】宿泊先として当館に決められた理由は？（主なもの2つまで○）	
①温泉 ②料理 ③価格 ④立地 ⑤外観 ⑥客室・設備 ⑦ロコミ・評判 ⑧ツアーの指定 ⑨他の希望旅館が満室のため ⑩その他（ ）	
【問4】当館の何を評価されますか？（最大3つまで○）	
①部屋が快適 ②共用施設が充実 ③食事がおいしい ④イベントなど企画力 ⑤心遣いのある接客 ⑥奈良らしい過ごし方の提案 ⑦便利な立地 ⑧周囲の環境 ⑨部屋からの景観 ⑩建物の魅力 ⑪価格 ⑫宿泊予約のしやすさ ⑬その他（ ）	
【問5】奈良市内に（もっと）あればいいと思う施設はありますか？（そう思うもの3つ○）	
①地元特産品・土産品販売店（和菓子等） ②地元伝統品販売店 ③日用品販売店（食料品・雑貨等） ④喫茶店・ファストフード店 ⑤昼食を提供する飲食店（イタリア料理店等） ⑥地元飲食店の集積施設（屋台村等） ⑦夜間にも営業している飲食店（居酒屋等） ⑧夜間中心の営業施設（スナック等） ⑨娯楽施設（映画館・ゲームセンター等） ⑩ファミリー向け施設（遊園地・動物園等） ⑪特にない ⑫その他（ ）	
<ご記入いただいた方のお書き下さい。>	
【問6】住まい：（ ）都・道・府・県（ ）市・町・村	
【問7】職業：①専業主婦 ②会社員 ③自営業 ④パート等 ⑤学生 ⑥無職	
【問8】年齢：①30歳未満 ②30歳代 ③40歳代 ④50歳代 ⑤60歳代 ⑥70歳以上	
【問9】当館のご利用回数：①初めて ②2回目 ③3回目 ④4回以上	
【問10】今後、奈良に再度来たいと思いますか？	
①是非来たい ②可能であれば来たい ③どちらともいえない ④あまり来たくない ⑤絶対に来ない	
【問11】その他、お気づきの点がございましたら、ご記入下さい。	
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。	

②調査結果

		合計	割合
Q1. 奈良に来た目的は？	①当館への宿泊	11	8.8%
	②寺社・仏閣	93	74.4%
	③祭り・イベント	3	2.4%
	④自然	4	3.2%
	⑤ミュージアム	2	1.6%
	⑥奈良市の街歩き	32	25.6%
	⑦奈良市以外の観光	14	11.2%
	⑧スポーツ	5	4.0%
	⑨グルメ	5	4.0%
	⑩保養	8	6.4%
	⑪ビジネス	8	6.4%
	⑫その他	11	8.8%
Q2. 宿泊先の情報入手方法1	①旅行代理店	44	35.2%
	②旅行情報誌・ガイドブック	2	1.6%
	③テレビ・ラジオ等番組	0	0.0%
	④パンフレット・チラシ	2	1.6%
	⑤インターネット	41	32.8%
	⑥当館のHP	3	2.4%
	⑦観光案内所	0	0.0%
	⑧友人や知人の紹介	10	8.0%
	⑨以前に宿泊した	16	12.8%
	⑩その他	13	10.4%
	Q3. 宿泊先の選択理由1	①温泉	2
②料理		4	3.2%
③価格		45	36.0%
④立地		55	44.0%
⑤外観		5	4.0%
⑥客室・施設		7	5.6%
⑦口コミ・評判		12	9.6%
⑧ツアーの指定		50	40.0%
⑨他の希望旅館が満室のため		2	1.6%
⑩その他		5	4.0%
Q4. 宿泊先の評価1	①部屋が快適	41	32.8%
	②共用施設が充実	8	6.4%
	③食事おいしい	35	28.0%
	④イベントなど企画力	0	0.0%
	⑤心遣いのある接客	43	34.4%
	⑥奈良らしい過ごし方の提案	5	4.0%
	⑦便利な立地	73	58.4%
	⑧周囲の環境	27	21.6%
	⑨部屋からの景観	6	4.8%
	⑩建物の魅力	8	6.4%
	⑪価格	35	28.0%
	⑫宿泊予約のしやすさ	10	8.0%
	⑬その他	6	4.8%

		合計	割合
Q5. 奈良市内に欲しい施設1	①地元特産品・土産品販売店	33	26.4%
	②地元伝統品販売店	22	17.6%
	③日用品販売店	3	2.4%
	④喫茶店・ファストフード店	10	8.0%
	⑤昼食を提供する飲食店	12	9.6%
	⑥地元飲食店の集積施設	17	13.6%
	⑦夜間にも営業している飲食店	15	12.0%
	⑧夜間中心の営業施設	5	4.0%
	⑨娯楽施設	3	2.4%
	⑩ファミリー向け施設	6	4.8%
	⑪特にない	28	22.4%
	⑫その他	12	9.6%
Q6. 住まい	①北海道	3	2.4%
	②東北	2	1.6%
	③関東	79	64.2%
	④中部	14	11.4%
	⑤近畿	12	9.8%
	⑥中国	3	2.4%
	⑦四国	1	0.8%
	⑧九州	8	6.5%
	⑨海外	1	0.8%
Q7. 職業1	①専業主婦	16	13.0%
	②会社員	66	53.7%
	③自営業	13	10.6%
	④パート等	9	7.3%
	⑤学生	5	4.1%
	⑥無職	14	11.4%
Q8. 年齢1	①30歳未満	16	12.3%
	②30歳代	12	9.2%
	③40歳代	20	15.4%
	④50歳代	26	20.0%
	⑤60歳代	41	31.5%
	⑥70歳以上	15	11.5%
Q9. 宿泊先利用回数1	①初めて	93	76.9%
	②2回目	9	7.4%
	③3回目	4	3.3%
	④4回以上	15	12.4%
Q10. 奈良に再度来たいか1	①是非来たい	79	65.3%
	②可能であれば来たい	38	31.4%
	③どちらともいえない	4	3.3%
	④あまり来たくない	0	0.0%
	⑤絶対来ない	0	0.0%

3. 信金旅行者向けアンケート（奈良市観光アンケートのお願い）

①調査票

＜ 奈良市観光アンケートのお願い ＞

【問1】「奈良市」に来られたのは初めてですか？

- ①はい （ 回目） ②いいえ

【問2】奈良市内に、（もっと）あればいいと感じるお店は何ですか？（複数回答可）

- ①「奈良らしさ」が感じられる商品があるお店（鹿グッズなどの、奈良を連想するお土産店等）
- ②伝統が感じられる商品があるお店（工芸品、一刀彫、奈良さらし等）
- ③グループや一人で、昼食が楽しめるお店
- ④グループや一人で、夕食が楽しめるお店
- ⑤観光の合間に、一息つけるカフェ、甘味処などのお店
- ⑥奈良に宿泊して、ゆっくりくり過ごせる宿泊施設
- ⑦その他（ ）

【問3】奈良市内に、（もっと）あればいいと感じる施設は何ですか？（複数回答可）

- ①観光拠点（観光案内所等） ②休憩スポット ③交流スポット ④文化体験施設（瓦作り、墨作り、写経等）
- ⑤携帯電話等を利用した、交通情報・施設情報（トイレ等）の案内表示
- ⑥奈良の『食』を楽しめる商業施設（酒の試飲、奈良漬の試食等） ⑦駐車場
- ⑧その他（ ）

【問4】「体験できるなら、奈良に宿泊したい！」と思うものはどれですか？（複数回答可）

- ①イベントに参加する（燈花会等） ②宿泊施設でゆっくりくつろぐ
- ③奈良の夜を楽しむ（夜景等） ④奈良の朝を楽しむ（奈良公園の朝露を見に行く等）
- ⑤寺社・仏閣めぐり ⑥史跡・遺跡めぐり ⑦自然を楽しむ（ハイキング等）
- ⑧街歩き（奈良町・東向北町等） ⑨文化体験（墨作り、写経等） ⑩宿泊しない

【問5】宿泊される場合には、どちらのタイプを希望されますか？（該当箇所には○をご記入下さい）

① 部屋	和室		洋室	
② 食事	和食	洋食	中華	その他
③ 価格	1万円以下	1万円～2万円	2万円～3万円	3万円以上
④ 立地	駅から近い所	街の中		閑静な所
⑤ 予約方法	直接電話で	代理店を通して		Web やインターネットで

【問6】1年以内に奈良を訪れていただけますか？

- ①自分から訪れる ②誘われたら訪れる ③あまり訪れたくない

【問7】その他、ご意見がございましたら、ご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

奈良信用金庫

②調査結果

	合計	割合
1.「奈良市」に来られたのは初めてですか？		
① はい	58	7.8%
② いいえ	686	92.2%
2. 奈良市内に、(もっと)あればいいと感じるお店はなんですか？(複数回答可)		
① 「奈良らしさ」が感じられる商品があるお店	132	11.3%
② 伝統が感じられる商品があるお店	211	18.1%
③ グループや一人で、昼食が楽しめるお店	287	24.7%
④ グループや一人で、夕食が楽しめるお店	44	3.8%
⑤ 観光の合間に一息つけるカフェ、甘味処などのお店	295	25.3%
⑥ 奈良に宿泊してゆっくり過ごせる宿泊施設	173	14.9%
⑦ その他	22	1.9%
3. 奈良市内に、(もっと)あればいいと感じる施設は何ですか？(複数回答可)		
① 観光拠点	147	14.6%
② 休憩スポット	172	17.1%
③ 交流スポット	29	2.9%
④ 文化体験施設	154	15.3%
⑤ 形態電話等を利用した交通情報・施設情報の案内表示	89	8.9%
⑥ 奈良の「食」を楽しめる商業施設	267	26.6%
⑦ 駐車場	128	12.7%
⑧ その他	18	1.8%
4. 「体験できるなら、奈良に宿泊したい！」と思うものはどれですか？(複数回答可)		
① イベントに参加する	81	5.3%
② 宿泊施設でゆっくりくつろぐ	163	10.7%
③ 奈良の夜を楽しむ	168	11.0%
④ 奈良の朝を楽しむ	128	8.4%
⑤ 寺社・仏閣めぐり	266	17.4%
⑥ 史跡・遺跡めぐり	266	17.4%
⑦ 自然を楽しむ	155	10.2%
⑧ 街歩き	200	13.1%
⑨ 文化体験	50	3.3%
⑩ 宿泊しない	48	3.1%

	合計	割合
5. 宿泊される場合には、どちらのタイプを希望されますか？		
(1)部屋について		
① 和室	238	27.8%
② 洋室	618	72.2%
(2)食事について		
① 和食	119	15.5%
② 洋食	18	2.3%
③ 中華	11	1.4%
④ その他	618	80.7%
(3)価格について		
① 1万円以下	346	35.0%
② 1～2万円	53	5.4%
③ 2～3万円	2	0.2%
④ 3万円以上	588	59.5%
(4)立地について		
① 駅から近い所	80	8.4%
② 街の中	300	31.4%
③ 閑静な所	575	60.2%
(5)予約方法について		
① 直接電話で	152	19.2%
② 代理店を通して	110	13.9%
③ Webやインターネットで	530	66.9%
6. 1年以内に奈良を訪れていただけますか？		
① 自分から訪れる	444	38.6%
② 誘われたら訪れる	55	4.8%
③ あまり訪れたくない	650	56.6%

4. 「奈良市観光振興プロジェクト」の活動経緯

2011年10月奈良県立大学・奈良信用金庫 地域連携協定締結

12月第1回「なら観光シンポジウム」を開催

1. 基調講演 春日大社 権宮司 岡本彰夫氏
～ 奈良の観光についての所感と提言 ～
2. パネルディスカッション
～ 奈良の観光を考える ～

2012年3月 第2回「なら観光シンポジウム」を開催

1. 基調講演 奈良国立博物館 学芸部長 西山厚氏
～ 奈良の人も知らない奈良の魅力がたくさんある事実 ～
2. パネルディスカッション
～ 奈良の地域ブランド戦略について ～

8月第3回「なら観光シンポジウム」を開催

1. 基調講演 紺野 美沙子氏
～ 繰り返し来ることわかる奈良のよさ～
2. 対談
～ 切り口次第で奈良の観光資源の楽しみ方が変わる～

9月奈良市観光振興プロジェクト 発足

12月「解脱上人」をテーマとした日帰り旅行企画 実施

2013年3月 枚方信用金庫と連携「年金友の会」体験型日帰り旅行企画

5月第4回「なら観光シンポジウム」を開催

1. 基調講演 奈良県立大学特任教授 田辺 征夫氏
～ 世界遺産と生きる奈良～
2. プロジェクト中間報告
～ 課題は「顧客目線での満足度向上」～
3. パネルディスカッション
～ 事前に決めていた目的以上の滞在や消費を引き出すには観光客の目に触れる場での演出や情報発信が大事～

11月第5回「なら観光シンポジウム」を開催

1. プロジェクト最終報告
～ 宿泊客増加のためにマップ作成と宿泊プランの提案～
2. 公開講座 藪内佐斗司氏
～ 課題は「顧客目線での満足度向上」～

<参考>：過去のなら観光シンポジウム パネラーの皆さま

第1回（2011年12月）

パネラー

春日大社 権宮司 岡本 彰夫 氏

奈良国立博物館 副館長 畑中 裕良 氏

信金中央金庫 専任役 笠原 博 氏

奈良信用金庫 理事長（当時） 加藤 正祐 氏

奈良県立大学 学生 前川 絵梨 氏

進行

奈良県立大学 学長 伊藤 忠通 氏

第2回（2012年3月）

パネラー

奈良国立博物館 学芸部長 西山 厚 氏

株式会社尾川 社長

Le BENKEI オーナー 尾川 欣司 氏

奈良大学名誉教授

社団法人南都楽所 楽頭 笠置 侃一 氏

信金中央金庫 専任役 笠原 博 氏

奈良県立大学 学生 下澤 稜平 氏

進行

奈良県立大学 学長 伊藤 忠通 氏

第3回（2012年8月）

対談

女優 紺野 美沙子 氏

奈良国立博物館 学芸部長 西山 厚 氏

パネラー

女優 紺野 美沙子 氏

学校法人白藤学園理事長 綿谷 正之 氏

奈良県人事委員会委員長

奈良県立大学 顧問 栗山 道義 氏

奈良県立大学 学長 伊藤 忠通 氏

コーディネーター

奈良国立博物館 学芸部長 西山 厚 氏

第4回（2013年5月）

パネラー

奈良県立大学 特任教授 田辺 征夫 氏

奈良国立博物館 学芸部長 西山 厚 氏

株式会社リクルートライフスタイル 澤柳 正子 氏

奈良信用金庫 理事長（当時） 加藤 正祐 氏

奈良県立大学 学長 伊藤 忠通 氏

進行

信金中央金庫 専任役 笠原 博 氏

6. 調査担当スタッフ

● 奈良県立大学

- ・メンバー 地域創造学部観光学科 美好 舞香
- ・メンバー 地域創造学部観光学科 倉野 千恵
- ・メンバー 地域創造学部地域総合学科 川向 麻衣子
- ・メンバー 地域創造学部観光学科 吉岡 千幸
- ・メンバー 地域創造学部観光学科 平住 美穂
- ・メンバー 地域創造学部観光学科 桐村 美彩

● 奈良信用金庫

- ・リーダー 生駒支店 業務推進課長 向井 基裕
- ・事務局 総合企画部 植木 香
- ・メンバー 奈良支店 松井 謙学

● 信金中央金庫

- ・地域・中小企業研究所 地域活性化支援室 専任役 笠原 博

(協力先)

● 奈良市

- ・観光経済部 観光振興課 振興係長 田村 敏之
- ・観光経済部 観光振興課 上野 貴清
- ・観光経済部 観光振興課 檜垣 知里
- ・観光経済部 観光戦略課 誘客促進係 粕谷 篤人
- ・観光経済部 観光振興課 奈良町にぎわい室 酒部 正太郎

● 奈良市観光協会

- ・事業課 白川 壮介

(敬称略)